

第2章 調査結果の詳細

2-1 一般高齢者【基本】調査

(1) ご本人について

①調査票の記入者

<図表1> 調査票の記入者

調査数	調査票の記入者			
	本人	家族	その他	無回答
1,999	1,687	47	5	260

②現在の状況（本人の不在の事情）

<図表2> 現在の状況（本人の不在の事情）

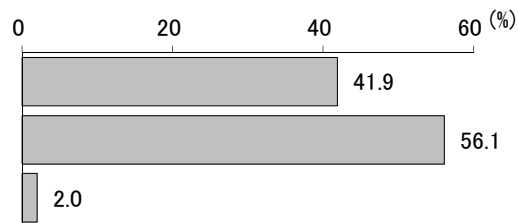
調査数	現在の状況（本人の不在の事情）					左記に該当しない
	医療機関に入院中	福祉施設に入所中	転居	死亡	その他	
1,999	6	3	2	1	29	1,958

以下、1,958人に対する集計結果を示す。

③性別

<図表3> 性別

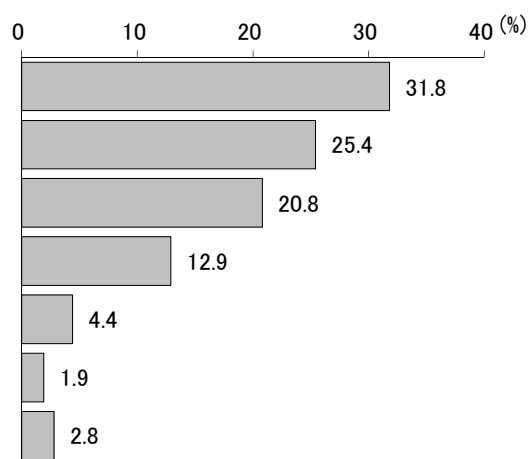
	基数	構成比
男性	820	41.9%
女性	1,098	56.1%
無回答	40	2.0%



④年齢

<図表4> 年齢

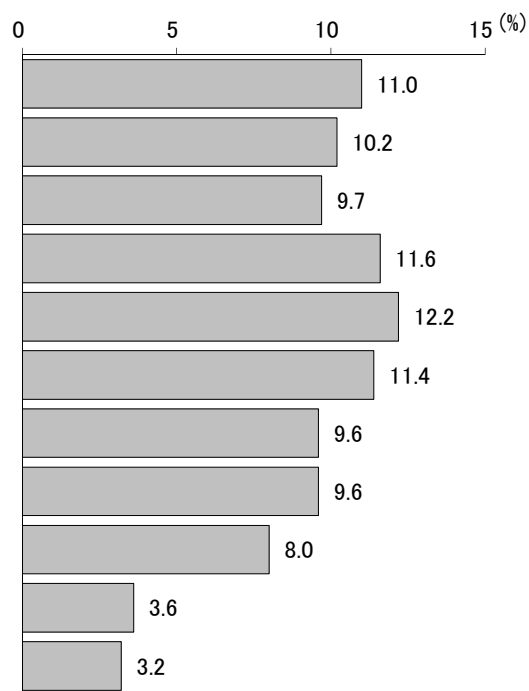
	基数	構成比
65歳～69歳	623	31.8%
70歳～74歳	497	25.4%
75歳～79歳	408	20.8%
80歳～84歳	252	12.9%
85歳～89歳	86	4.4%
90歳以上	38	1.9%
無回答	54	2.8%



⑤お住まいの地区

<図表5> お住まいの地区

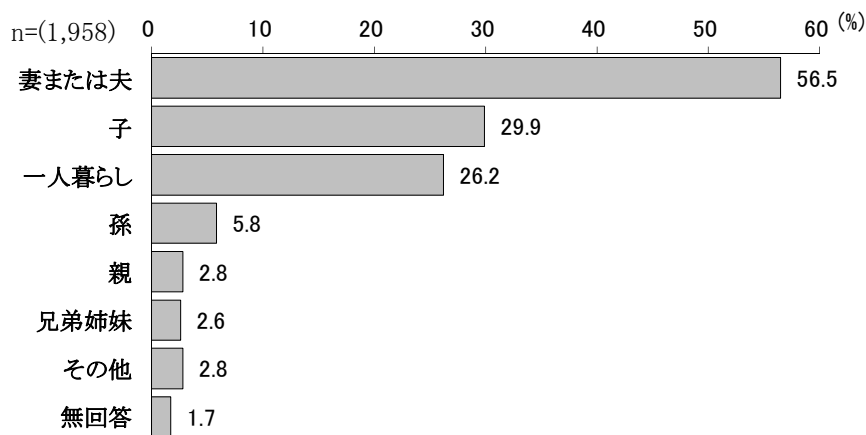
	基数	構成比
四谷	216	11.0%
簗筒町	200	10.2%
榎町	190	9.7%
若松町	227	11.6%
大久保	238	12.2%
戸塚	223	11.4%
落合第一	187	9.6%
落合第二	187	9.6%
柏木	156	8.0%
角筈	71	3.6%
無回答	63	3.2%



⑥同居者

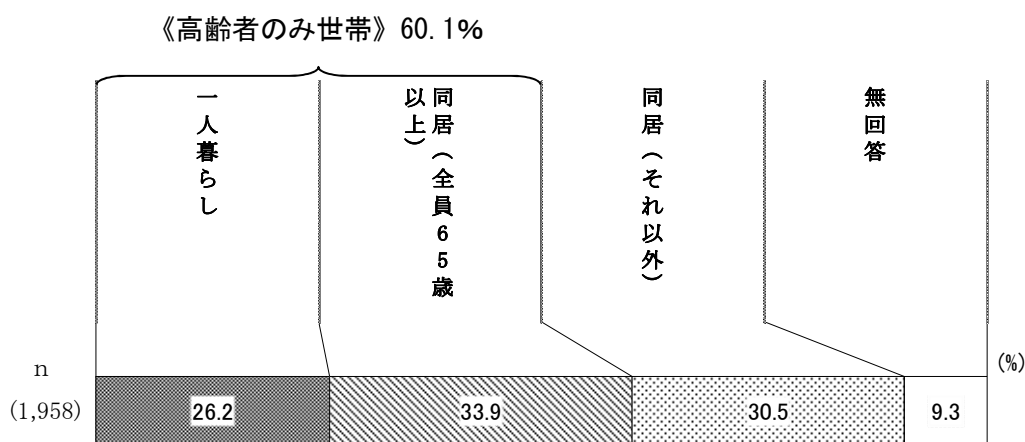
問4 現在、あなたはどなたかと同居していますか。同居している場合は、あなたからみた続柄で、同居している方すべてに○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

<図表6> 同居者（複数回答）



同居の状態をたずねたところ、「一人暮らし」(26.2%)が2割台半ばを超えている。同居している人は、「妻または夫」(56.5%)が5割台半ばを超え、次いで「子」(29.9%)の順となっている。

<図表7> 世帯構成

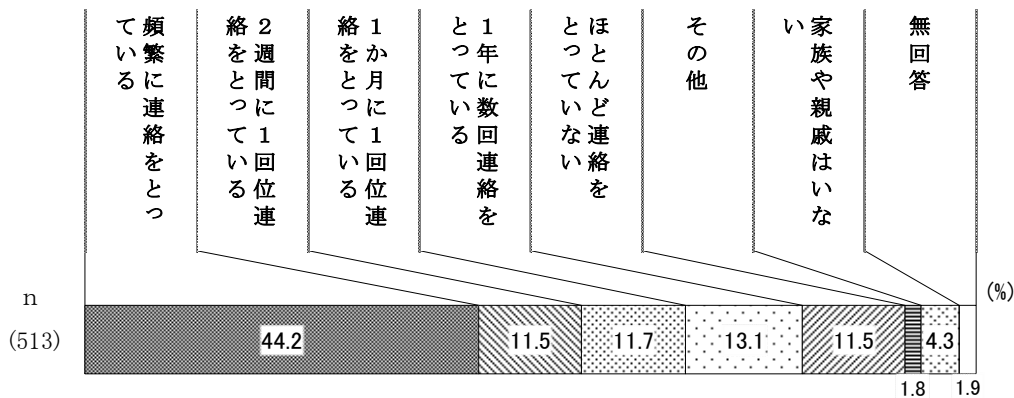


世帯構成について、「一人暮らし」(26.2%)と「同居(全員65歳以上)」(33.9%)をあわせた《高齢者のみ世帯》は60.1%となっている。

⑦家族や親戚との連絡

問4-1 《問4で「一人暮らし」を選んだ方のみお答えください》
 あなたは、ご家族やご親戚と連絡をどのくらいとっていますか。(1つに○)

<図表8> 家族や親戚との連絡

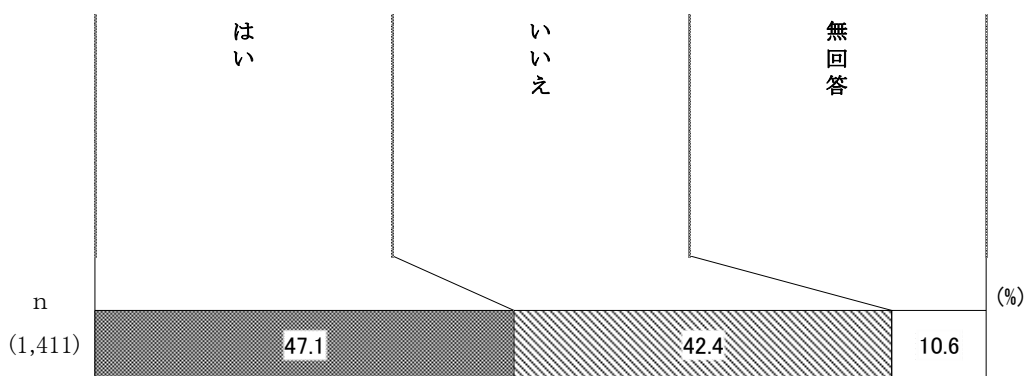


問4で「一人暮らし」と回答した人に家族や親戚と連絡をとっている頻度をたずねたところ、「頻繁に連絡をとっている」(44.2%)が4割台半ば近くで最も高くなっている。

⑧同居者の年齢(全員65歳以上か否か)

問4-2 《問4でどなたかと同居している方のみお答えください》
 同居の方は、全員65歳以上ですか。(1つに○)

<図表9> 同居者の年齢(全員65歳以上か否か)

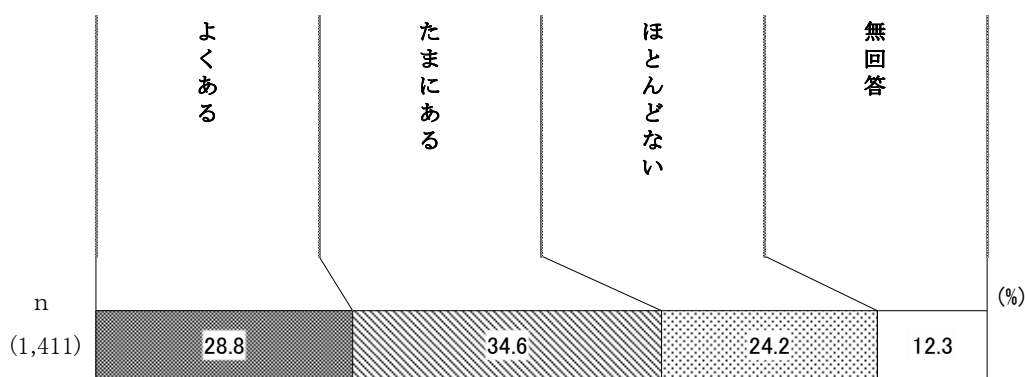


問4で《同居者がいる》と回答した人に同居者が全員65歳以上かたずねたところ、「はい」(47.1%)は4割台半ばを超えている。

⑨日中の独居状況

問4-3 《問4でどなたかと同居している方のみお答えください》
 日中、一人になることはありますか。(1つに○)

<図表10> 日中の独居状況

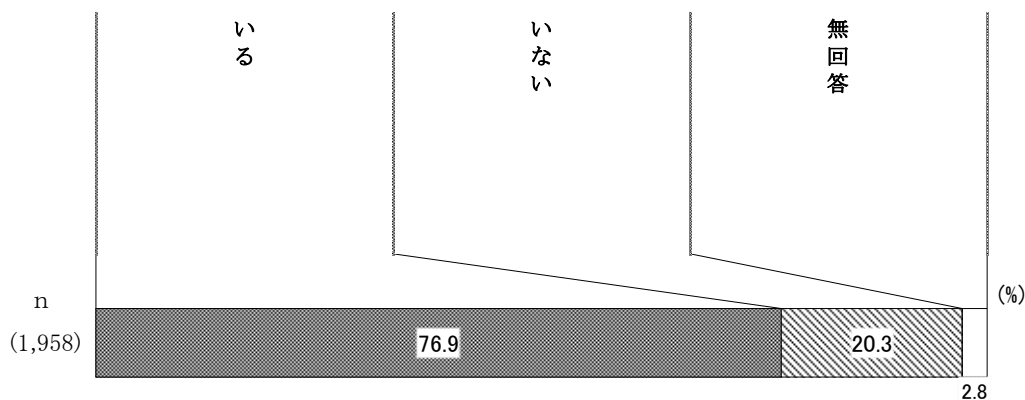


問4で《同居者がいる》と回答した人に日中一人になることがあるかたずねたところ、「たまにある」(34.6%)が3割台半ば近くで最も高く、次いで、「よくある」(28.8%)、「ほとんどない」(24.2%)の順となっている。

⑩同居者以外に手助けを頼める人の有無

問5 あなたが日常生活で困ったことがあった時、同居者以外に誰か手助けを頼める人がいますか。(1つに○)

<図表11> 同居者以外に手助けを頼める人の有無

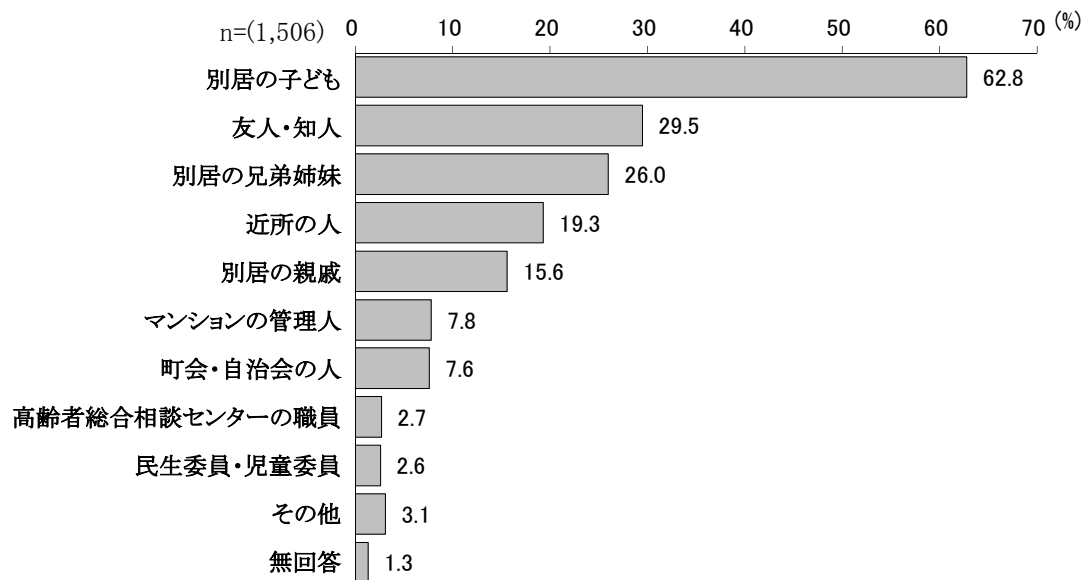


同居者以外に日常生活で困った時に手助けを頼める人の有無をたずねたところ、「いる」(76.9%)は7割台半ばを超えている。

⑪手助けを頼める人

問5-1 《問5で「いる」を選んだ方のみお答えください》
手助けを頼める人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表12> 手助けを頼める人(複数回答)

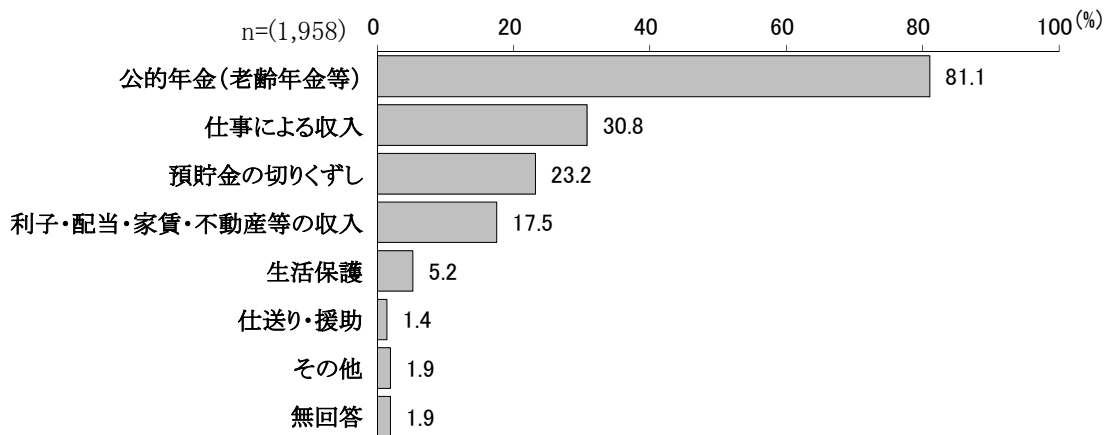


問5で同居者以外に手助けを頼める人が「いる」と回答した人に、その依頼先をたずねたところ、「別居の子ども」(62.8%)が6割強と最も高く、次いで、「友人・知人」(29.5%)、「別居の兄弟姉妹」(26.0%)となっている。

⑫自身の収入

問6 あなたご本人の収入は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表13> 自身の収入(複数回答)

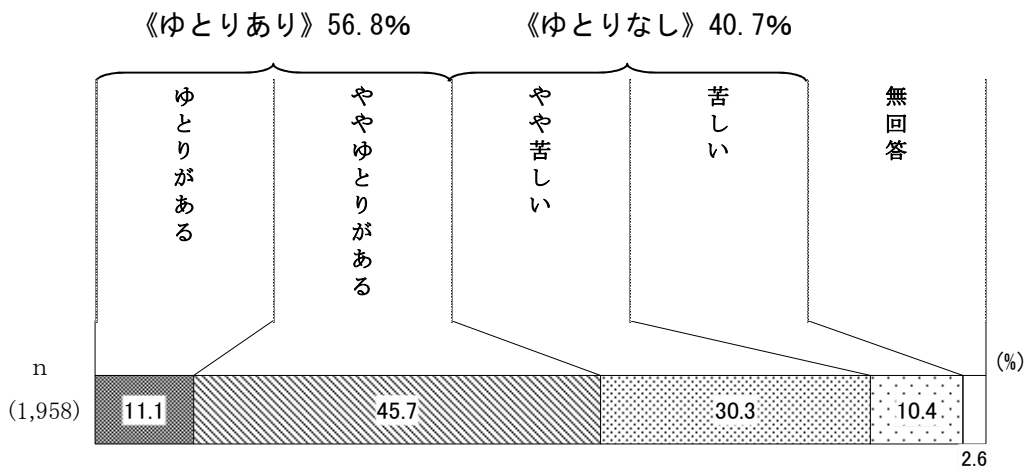


自身の収入についてたずねたところ、「公的年金(老齢年金等)」(81.1%)が8割強と最も高く、次いで「仕事による収入」(30.8%)、「預貯金の切りくずし」(23.2%)の順となっている。

⑬現在の暮らし向き

問7 あなたは、現在のご自身の暮らし向きをどのように感じていますか。(1つに○)

<図表14> 現在の暮らし向き

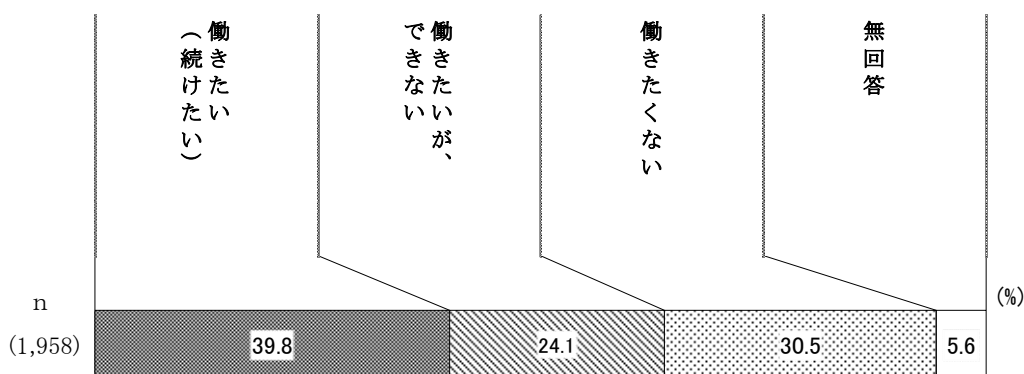


現在の暮らし向きについてたずねたところ、「ゆとりがある」(11.1%)と「ややゆとりがある」(45.7%)をあわせた《ゆとりあり》は56.8%となっている。

⑭今後の就業意向

問8 あなたは今後、働きたい(働き続けたい)ですか。(1つに○)

<図表15> 今後の就業意向

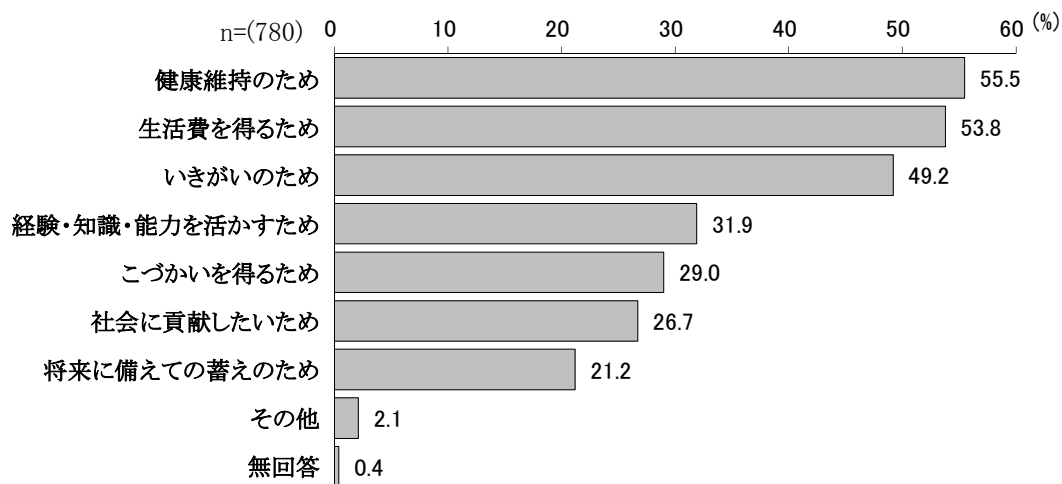


今後の就業意向についてたずねたところ、「働きたい(続けたい)」(39.8%)が4割弱と最も高く、次いで、「働きたくない」(30.5%)、「働きたいが、できない」(24.1%)の順となっている。

⑮働きたい（続けたい）理由

問8-1 <<問8で「働きたい（続けたい）」を選んだ方のみお答えください>>
働きたい（続けたい）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

<図表16> 働きたい(続けたい)理由 (複数回答)

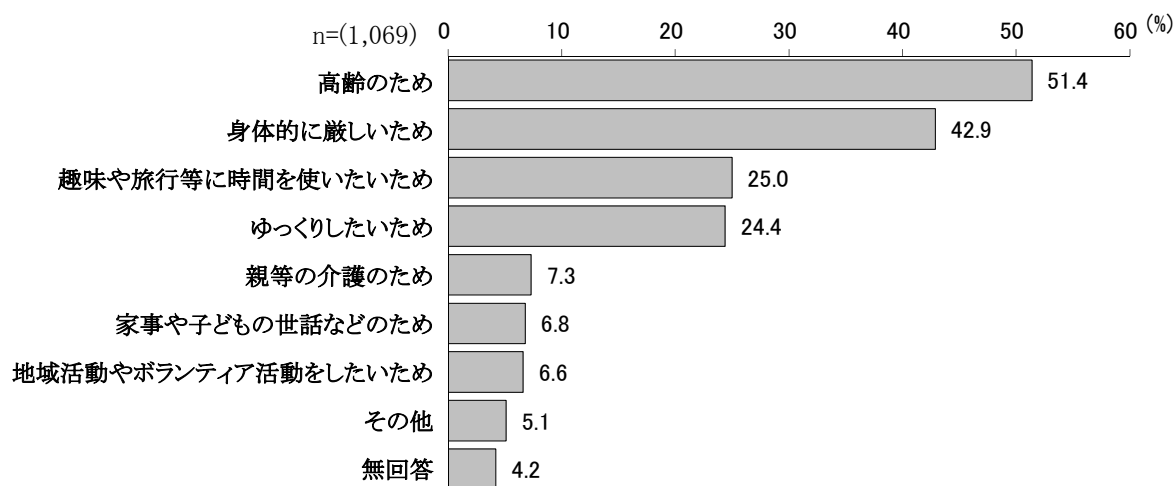


問8で「働きたい(続けたい)」と回答した人に働きたい(続けたい)理由についてたずねたところ、「健康維持のため」(55.5%)が5割台半ばと最も高く、次いで「生活費を得るため」(53.8%)、「いきがいのため」(49.2%)の順となっている。

⑩働けない（働きたくない）理由

問8-2 <<問8で「働きたいが、できない」または「働きたくない」を選んだ方のみお答えください>>
 働きたいが、できない（または働きたくない）理由は何ですか。
 （あてはまるものすべてに○）

<図表17> 働けない(働きたくない)理由 (複数回答)

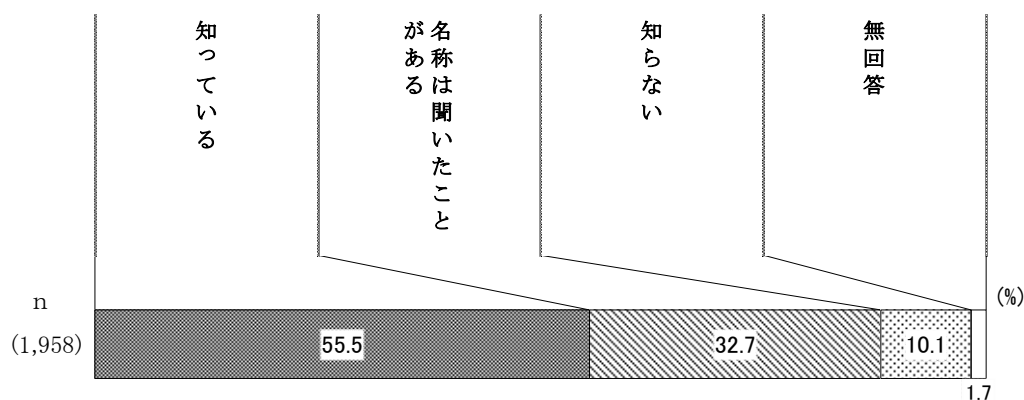


問8で「働きたいが、できない」または「働きたくない」と回答した人に働けない(働きたくない)理由についてたずねたところ、「高齢のため」(51.4%)が5割強と最も高く、次いで「身体的に厳しいため」(42.9%)、「趣味や旅行等に時間を使いたいため」(25.0%)の順となっている。

⑪新宿シルバー人材センターの認知度

問9 あなたは、新宿区シルバー人材センターをご存じですか。(1つに○)

<図表18> 新宿シルバー人材センターの認知度



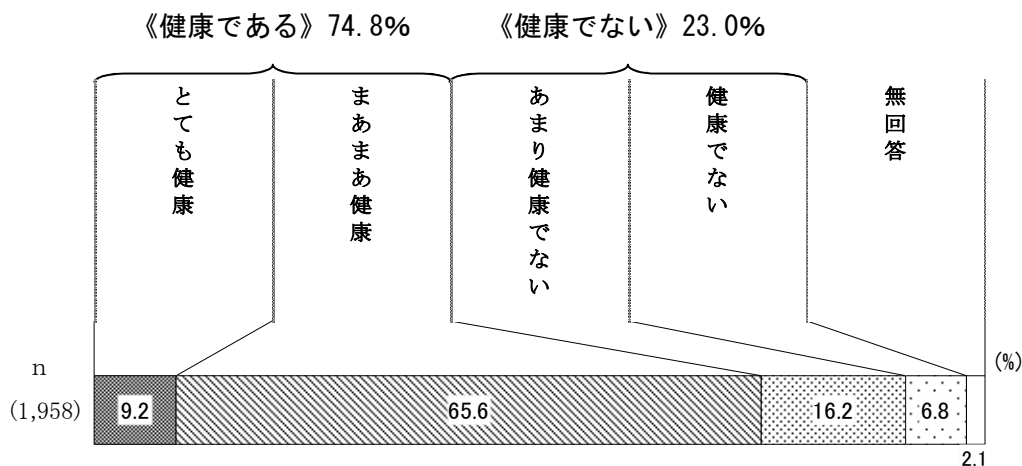
新宿シルバー人材センターの認知度をたずねたところ、「知っている」(55.5%)は5割台半ば、「名称は聞いたことがある」(32.7%)は3割強となっている。

(2) 健康状態や健康づくり等について

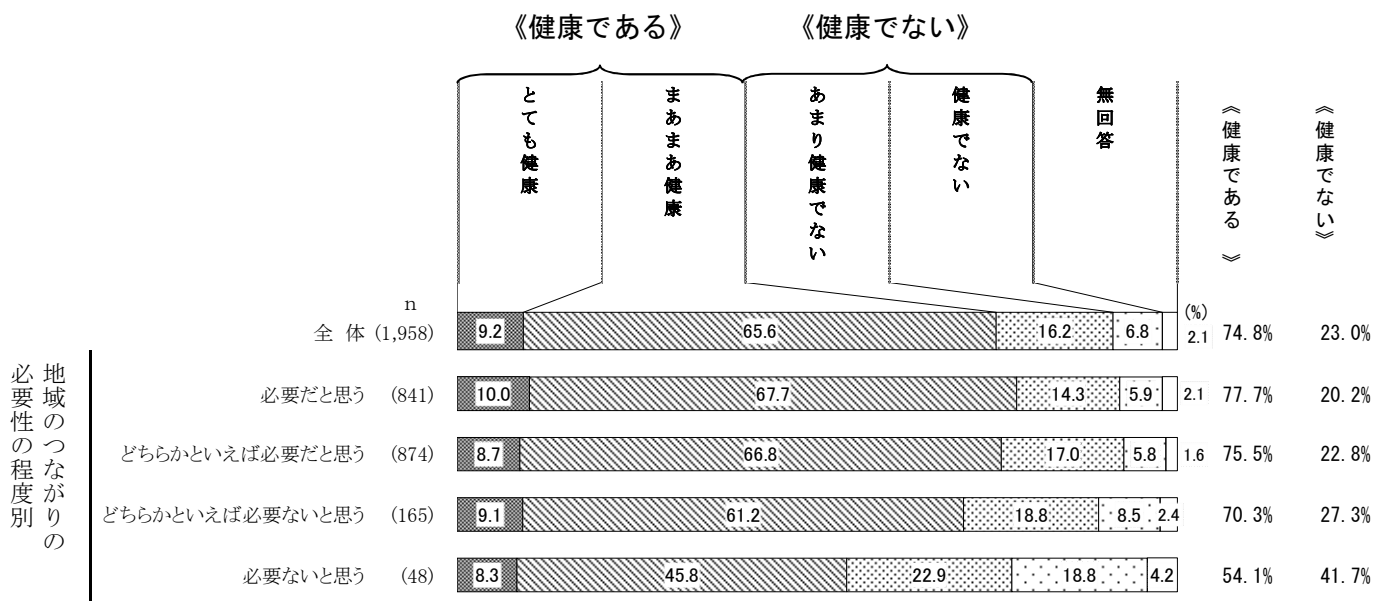
①健康状態

問10 あなたは、健康だと思いますか。(1つに○)

<図表19> 健康状態



<図表20> 健康状態【地域のつながりの必要性の程度別 (問29)】



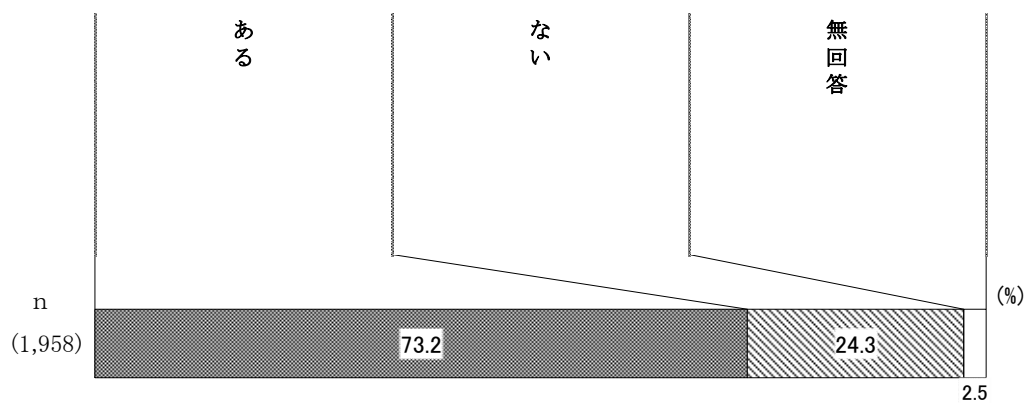
自身の健康状態についてたずねたところ、「とても健康」(9.2%)と「まあまあ健康」(65.6%)をあわせた《健康である》は74.8%となっている。

地域のつながりの必要性の程度別でみると、必要性を感じている人ほど《健康である》割合が増加する傾向にある。

②治療中の病気の有無

問11 あなたは、現在治療中の病気がありますか。(1つに○)

<図表21> 治療中の病気の有無



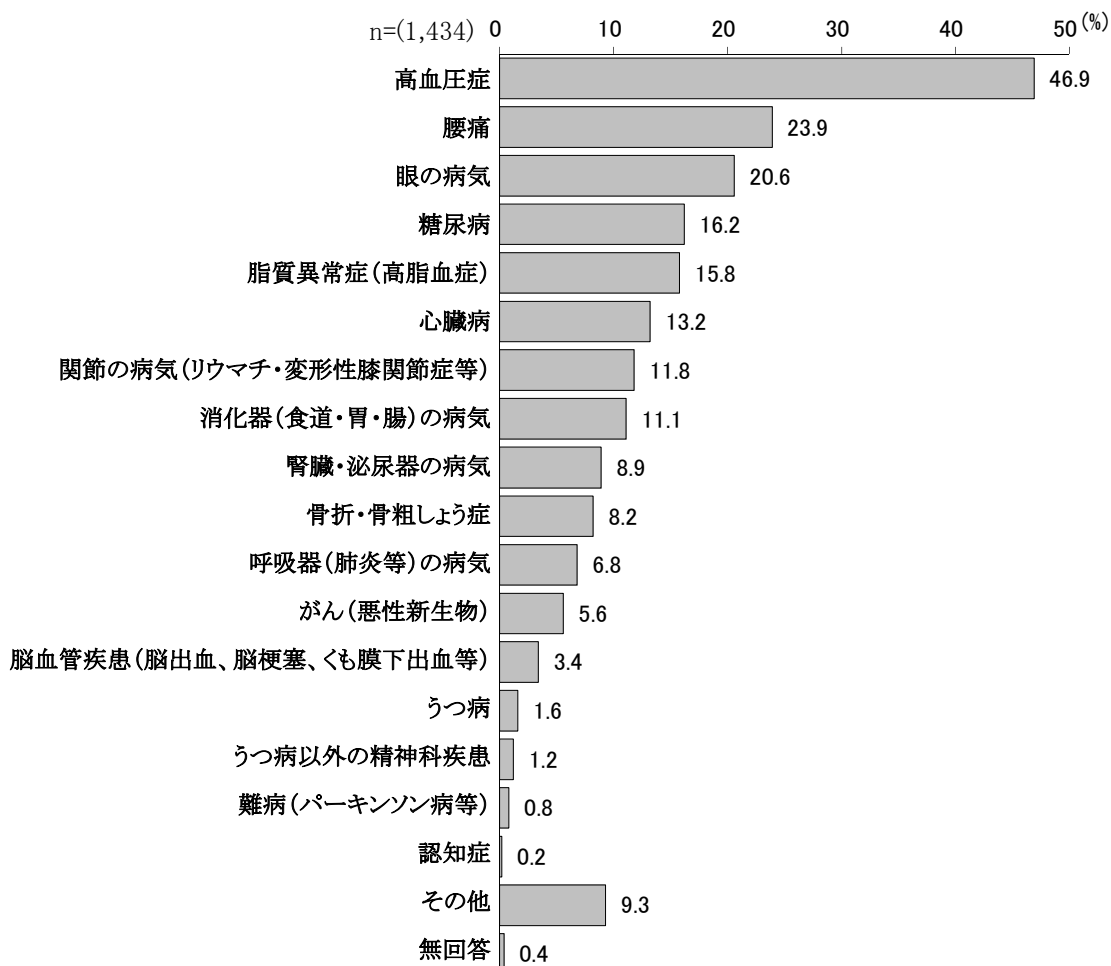
現在治療中の病気の有無をたずねたところ、「ある」(73.2%)が7割台半ば近くとなっている。

③治療中の病気の種類

問11-1 <<問11で「ある」を選んだ方のみお答えください>>

治療中の病気は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表22> 治療中の病気の種類 (複数回答)

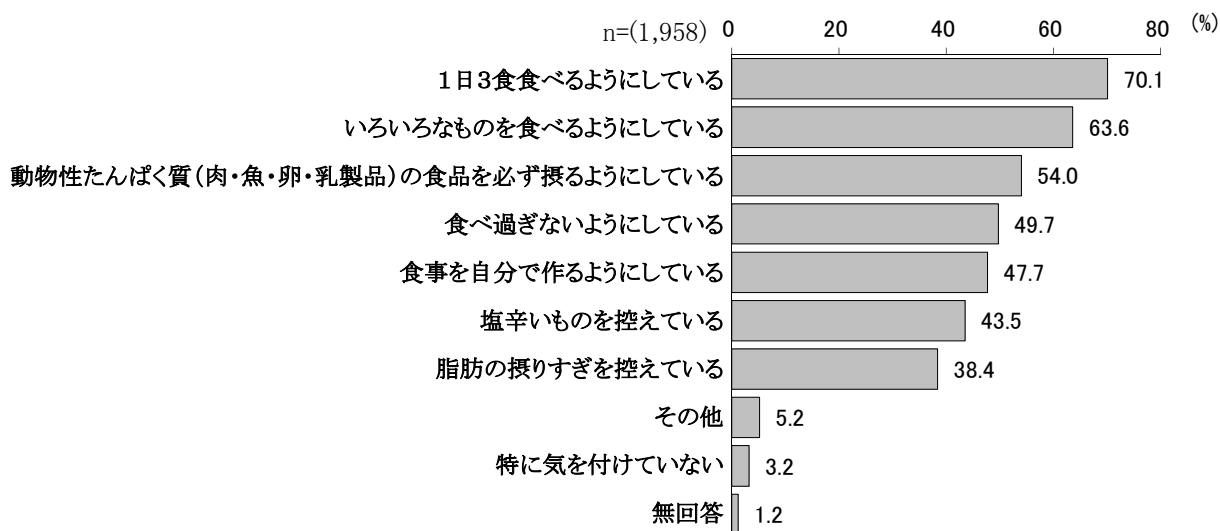


問11で治療中の病気が「ある」と回答した人に治療中の病気についてたずねたところ、「高血圧症」(46.9%)が4割台半ばを超えて最も高く、次いで、「腰痛」(23.9%)、「眼の病気」(20.6%)の順となっている。「その他」では、アレルギー、ぜんそく、皮膚病といった内容があげられた。

④食事について気をつけていること

問12 あなたは、食事について、どのようなことに気をつけていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

<図表23> 食事について気をつけていること (複数回答)



食事について気をつけていることをたずねたところ、「1日3食食べるようにしている」(70.1%)が約7割と最も高く、次いで、「いろいろなものを食べるようにしている」(63.6%)、「動物性たんぱく質(肉・魚・卵・乳製品)の食品を必ず摂るようにしている」(54.0%)の順となっている。

性・年齢別で見ると、「1日3食食べるようにしている」は、年齢が上がるほど、増加する傾向にある。

(次頁に性・年齢別の表を掲載)

<図表24> 食事について気をつけていること【性・年齢別】

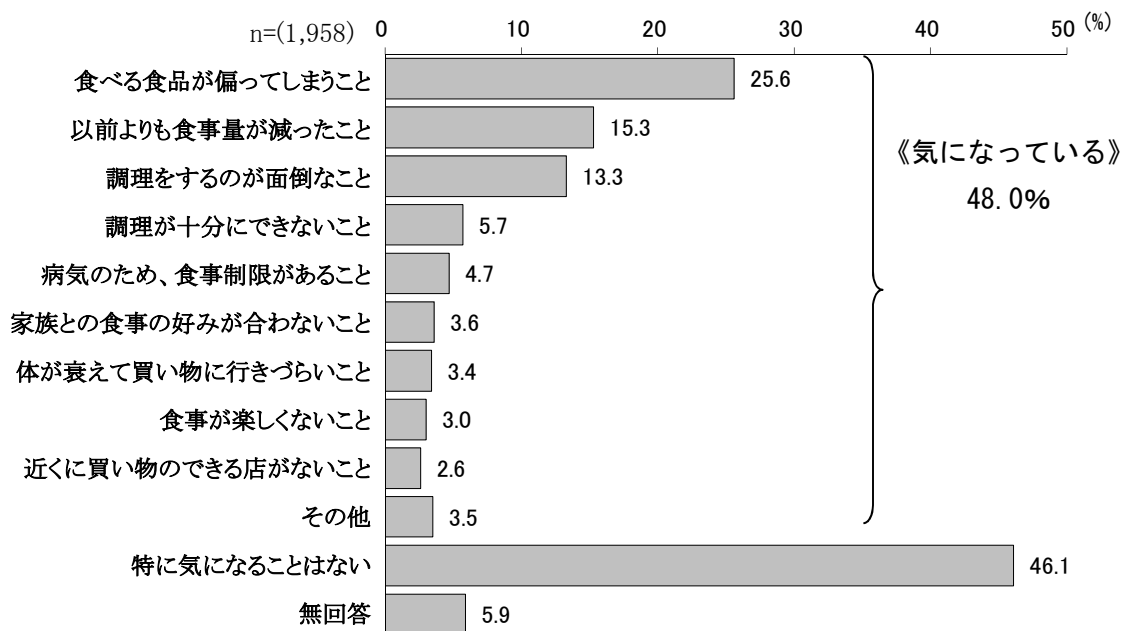
(%)

	調査数	1日3食食べるようにしている	いろいろなものを食べるようにしている	動物性たんぱく質(肉・魚・卵・乳製品)の食品を必ず摂るようにしている	食べ過ぎないようにしている	食事を自分で作るようにしている	塩辛いものを控えている	脂肪の摂りすぎを控えている	その他	特に気を付けていない	無回答
全体	1,958	70.1	63.6	54.0	49.7	47.7	43.5	38.4	5.2	3.2	1.2
男性・65歳～69歳	288	60.1	53.5	35.8	48.3	17.7	38.5	30.6	4.2	5.6	2.1
70歳～74歳	207	65.2	58.0	44.9	50.7	21.7	38.2	31.4	6.3	4.8	0.5
75歳～79歳	166	74.7	64.5	51.8	53.6	19.9	39.8	34.9	3.0	3.0	1.8
80歳～84歳	99	76.8	47.5	45.5	40.4	25.3	41.4	27.3	4.0	4.0	1.0
85歳～89歳	34	88.2	67.6	50.0	55.9	14.7	44.1	44.1	-	-	-
90歳以上	15	80.0	86.7	80.0	46.7	26.7	46.7	40.0	6.7	-	-
女性・65歳～69歳	335	66.6	68.1	60.3	51.0	63.9	47.2	46.6	7.8	3.6	1.8
70歳～74歳	290	72.1	68.6	57.9	54.1	66.6	46.6	43.8	3.1	3.1	-
75歳～79歳	239	76.2	69.9	66.9	52.3	74.1	50.6	44.8	6.3	0.4	2.1
80歳～84歳	150	77.3	67.3	60.7	38.7	74.0	46.0	40.7	5.3	1.3	-
85歳～89歳	51	74.5	74.5	72.5	43.1	80.4	35.3	31.4	7.8	2.0	-
90歳以上	22	77.3	54.5	81.8	54.5	50.0	59.1	36.4	4.5	4.5	-

⑤食生活について気になっていること

問13 あなたは、食生活について、日頃どのようなことが気になっていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

<図表25> 食生活について気になっていること (複数回答)

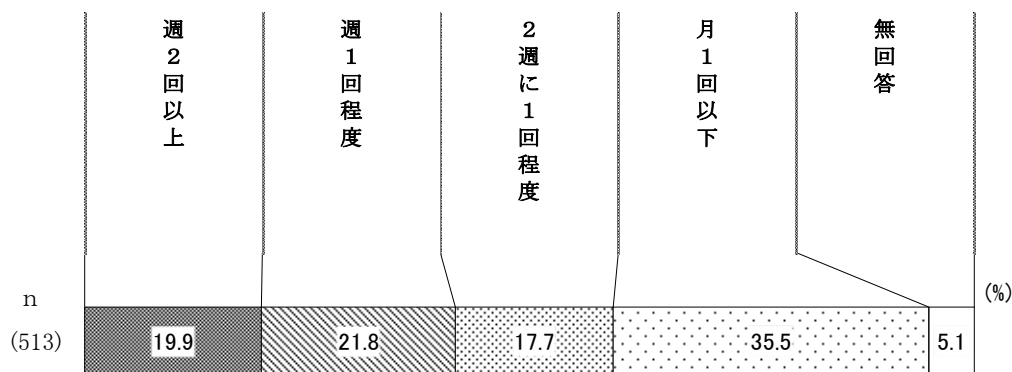


食生活について気になっていることをたずねたところ、《気になっている》(48.0%)が5割近くとなっている。気になっていることの内容としては、「食べる食品が偏ってしまう」(25.6%)が2割台半ばで最も高く、次いで、「以前よりも食事量が減ったこと」(15.3%)、「調理をするのが面倒なこと」(13.3%)の順となっている。

⑥誰かと一緒に食事をする事

問14 《一人暮らしの方のみお答えください》
 あなたは、友人、知人など、誰かと一緒に食事をする事がどのくらいありますか。
 (1つに〇)

<図表26> 誰かと一緒に食事をする事

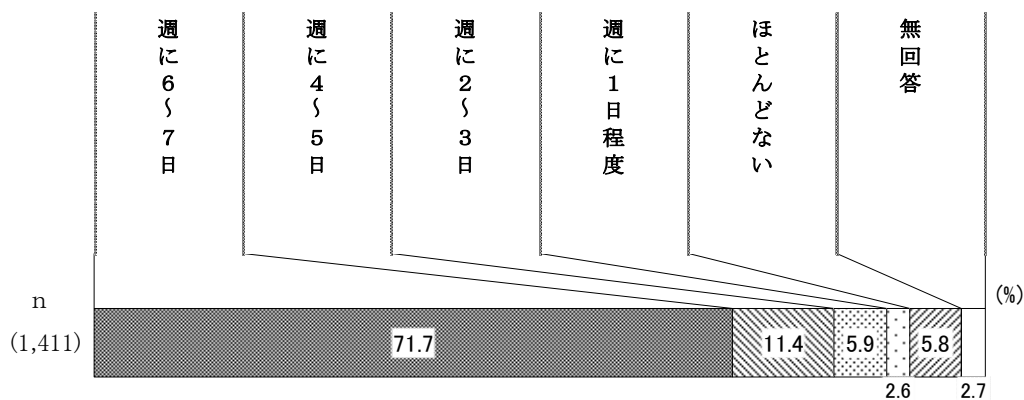


一人暮らしの方に誰かと一緒に食事をする事をたずねたところ、「月1回以下」(35.5%)が3割台半ばと最も高く、次いで、「週1回程度」(21.8%)、「週2回以上」(19.9%)の順となっている。

⑦同居している人と夕食を食べる頻度

問15 《二人以上でお住まいの方のみお答えください》
 あなたが夕食を同居している人と一緒に食べるのは、週に何日ですか。(1つに〇)

<図表27> 同居している人と夕食を食べる頻度

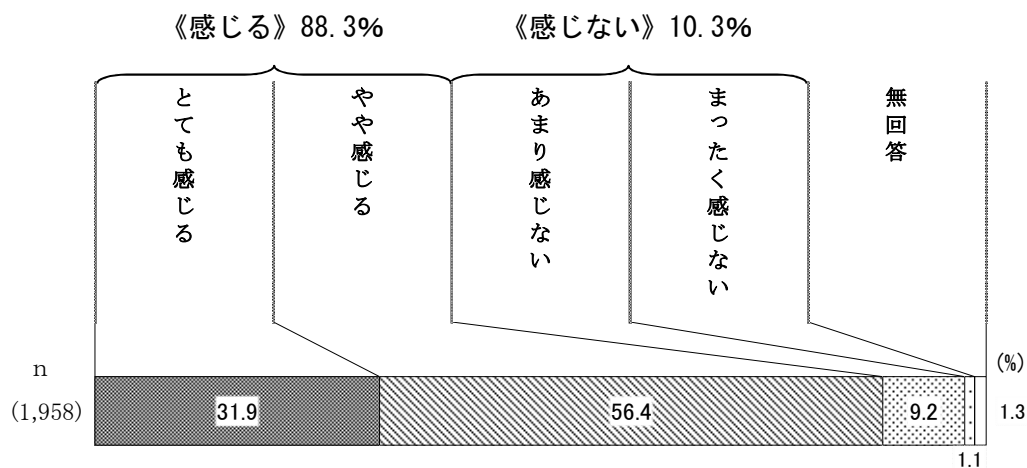


二人以上でお住まいの方に、同居している人と夕食を食べる頻度についてたずねたところ、「週に6〜7日」(71.7%)が7割強と最も高くなっている。

⑧筋力や体力の衰え

問16 あなたは、筋力や体力の衰えを感じることはありますか。(1つに○)

<図表28> 筋力や体力の衰え

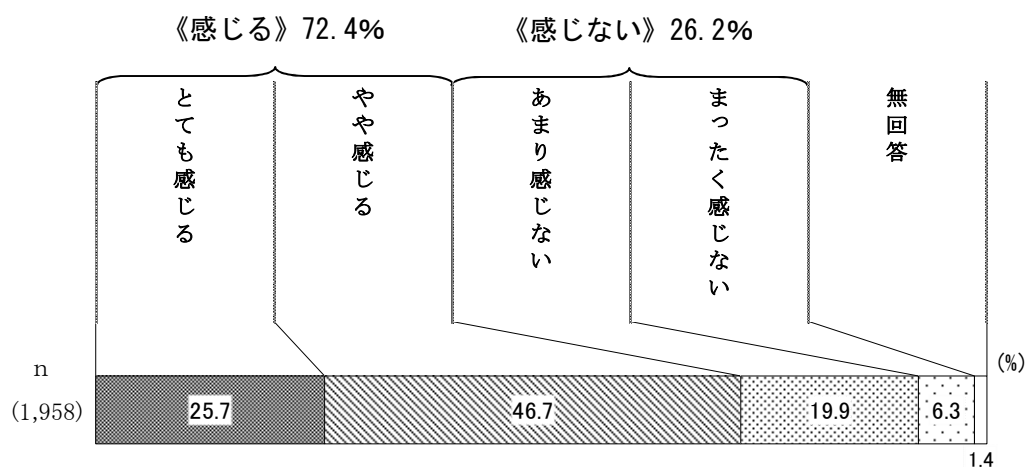


筋力や体力の衰えについてたずねたところ、「とても感じる」(31.9%)と「やや感じる」(56.4%)をあわせた《感じる》は88.3%となっている。

⑨足腰・関節に痛みを感じる事

問17 あなたは、足腰・関節に痛みを感じることはありますか。(1つに○)

<図表29> 足腰・関節に痛みを感じる事

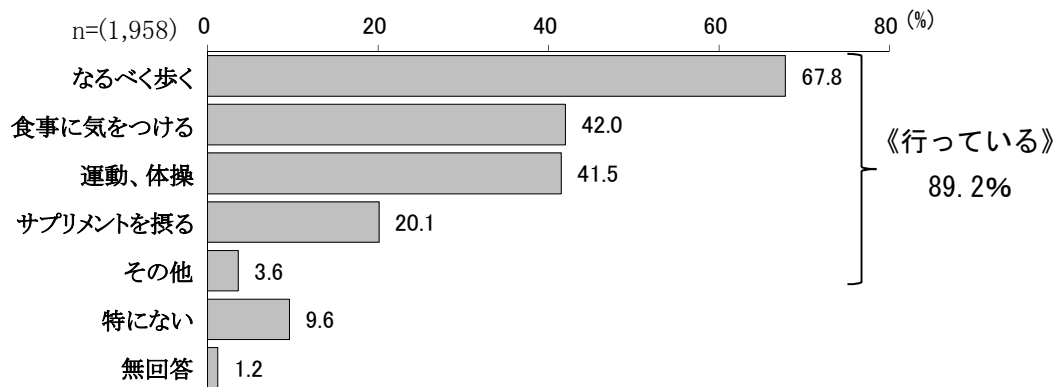


足腰・関節に痛みを感じる事についてたずねたところ、「とても感じる」(25.7%)と「やや感じる」(46.7%)をあわせた《感じる》は72.4%となっている。

⑩足腰の健康や、骨を丈夫にするためにしていること

問18 あなたは、足腰の健康や、骨を丈夫にするためにしていることはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

<図表30> 足腰の健康や、骨を丈夫にするためにしていること (複数回答)

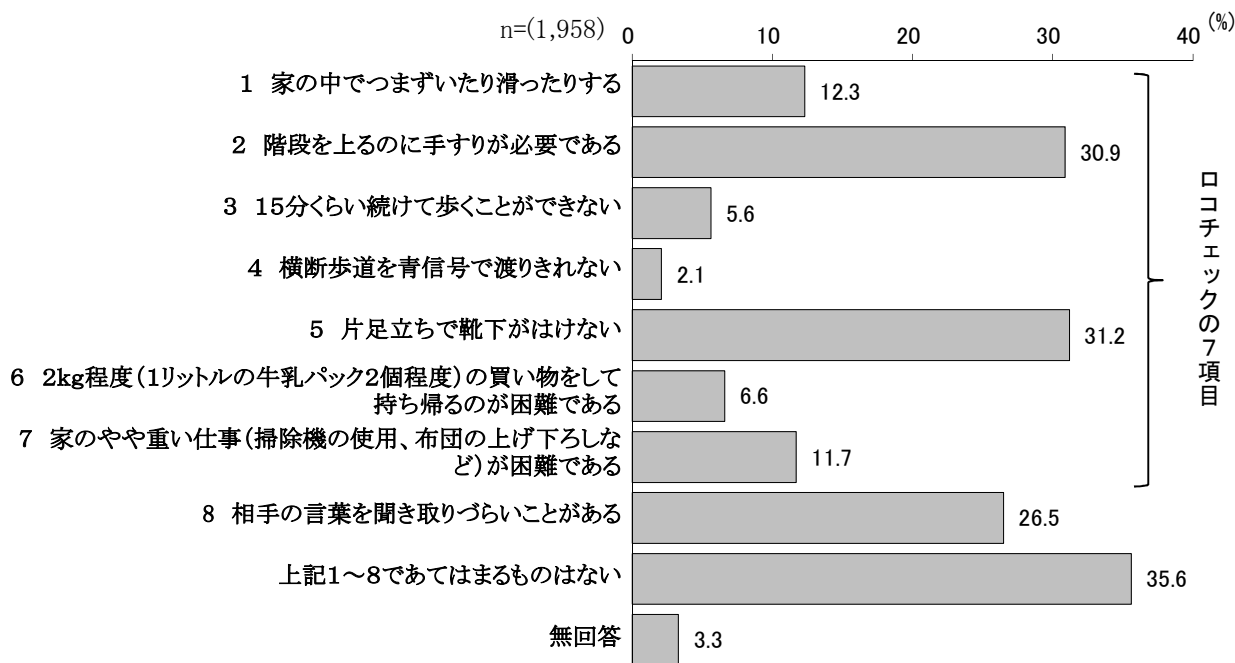


足腰の健康や、骨を丈夫にするためにしていることをたずねたところ、「なるべく歩く」(67.8%)が6割台半ばを超えて最も高く、次いで、「食事に気をつける」(42.0%)、「運動、体操」(41.5%)の順となっている。

⑪日常生活であてはまること

問19 あなたは、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

<図表31> 日常生活であてはまること (複数回答)

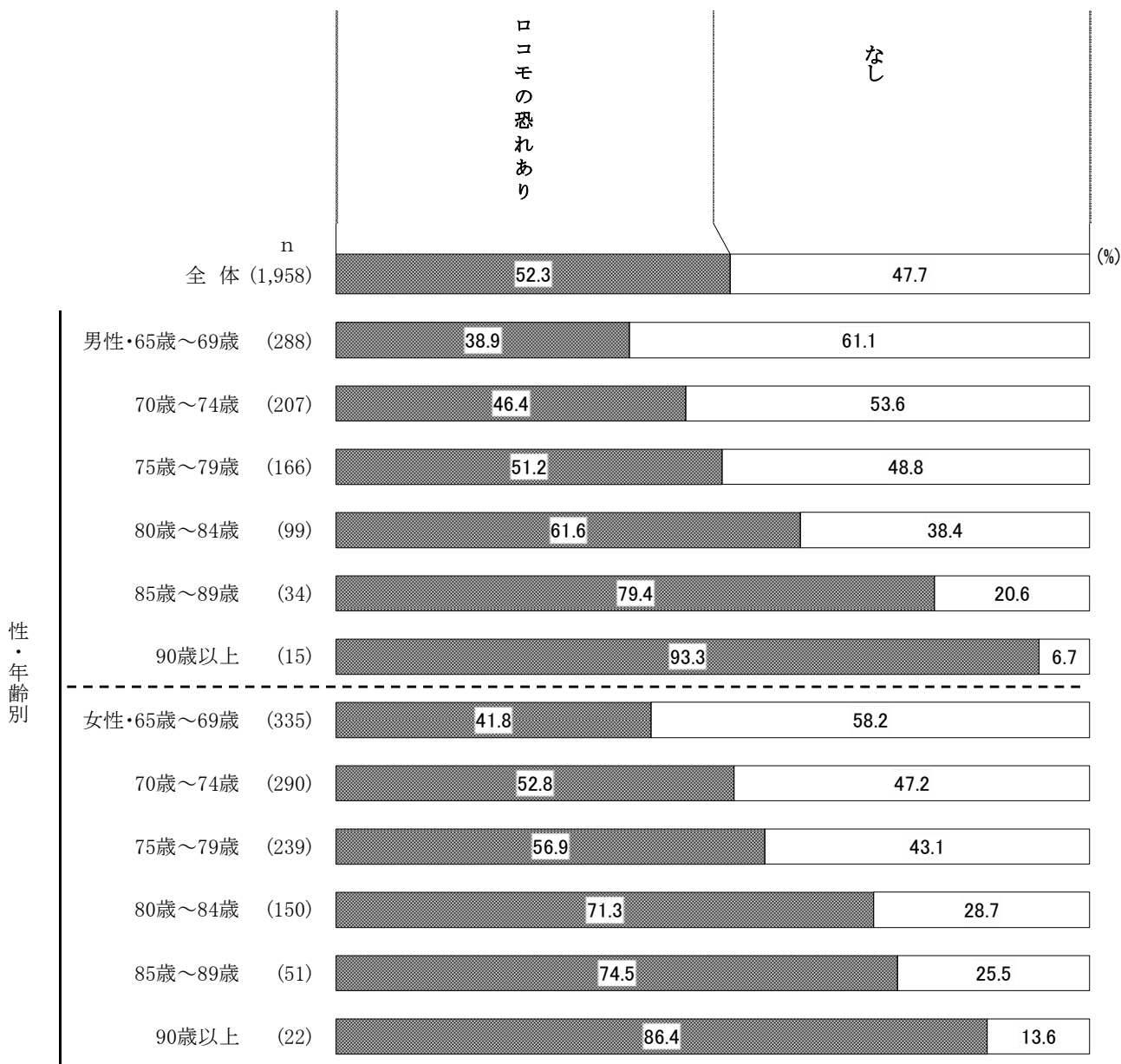


日常生活であてはまることをたずねたところ、「上記1～8であてはまるものはない」(35.6%)が3割台半ばとなっている。あてはまる内容としては、「片足立ちで靴下がはけない」(31.2%)が3割強で最も高く、次いで、「階段を上るのに手すりが必要である」(30.9%)、「相手の言葉を聞き取りづらいことがある」(26.5%)の順となっている。

【ロコチェック】(下記の7項目のうち、1つ以上回答した方を「ロコモの恐れあり」で集計)

1. 家の中でつまずいたり滑ったりする
2. 階段を上るのに手すりが必要である
3. 15分くらい続けて歩くことができない
4. 横断歩道を青信号で渡りきれない
5. 片足立ちで靴下がはけない
6. 2kg程度(1リットルの牛乳パック2個程度)の買い物をして持ち帰るのが困難である
7. 家のやや重い仕事(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)が困難である

<図表32> ロコモの恐れあり【性・年齢別】



問19で、ロコモチェックの7項目に1つ以上回答した方を「ロコモの恐れあり」として集計したところ、「ロコモの恐れあり」(52.3%)は5割強となっている。

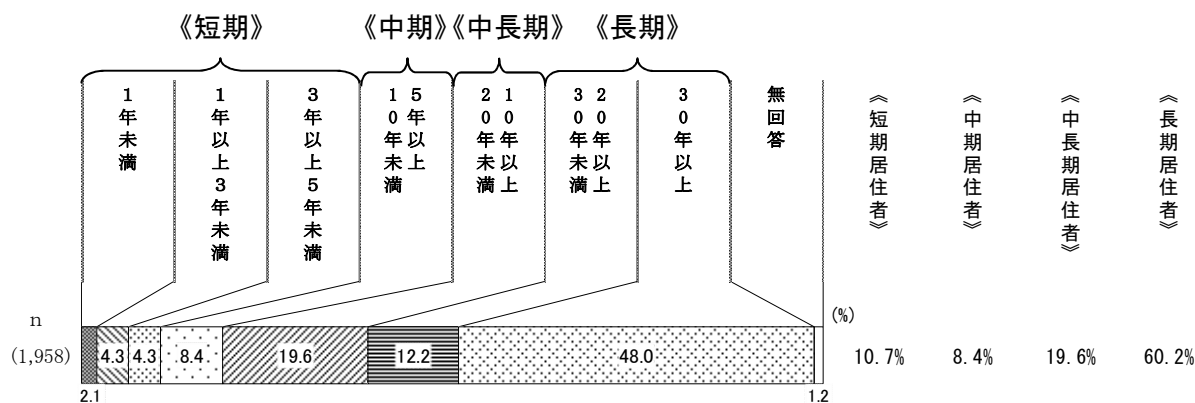
性・年齢別でみると、「ロコモの恐れあり」は、年齢が上がるほど、増加する傾向にある。

(3) お住まいについて

①居住年数

問20 あなたは、現在のお住まいに何年住んでいますか。(1つに○)

<図表33> 居住年数

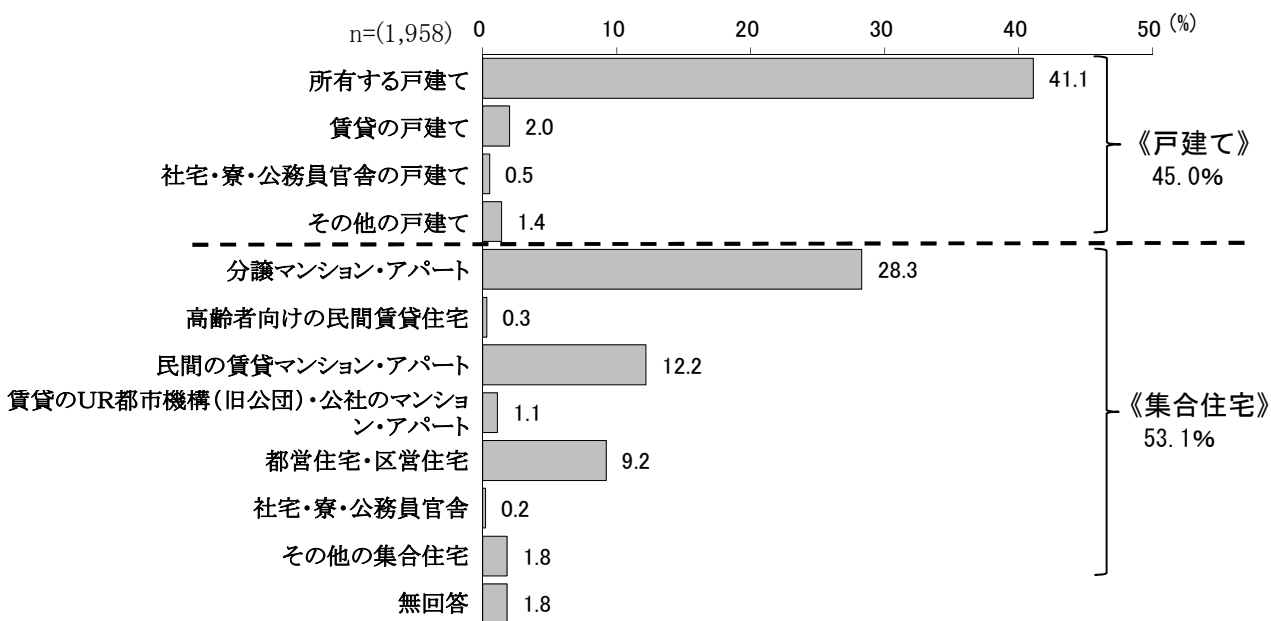


居住年数についてたずねたところ、「20年以上30年未満」(12.2%)と「30年以上」(48.0%)をあわせた《長期居住者》は60.2%となっている。

②住まいの形態

問21 現在のお住まいは、次のうちどれですか。戸建ての場合は建物の階数、集合住宅の場合は住んでいる階数をそれぞれご記入ください。(1つに○)

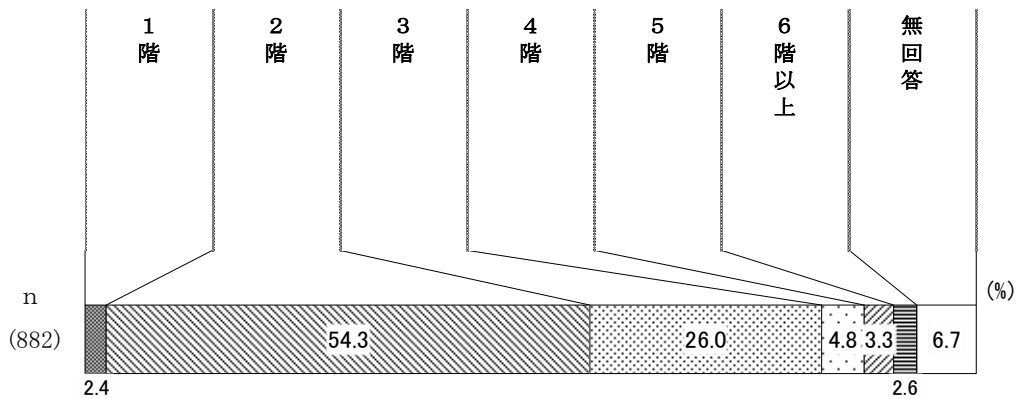
<図表34> 住まいの形態



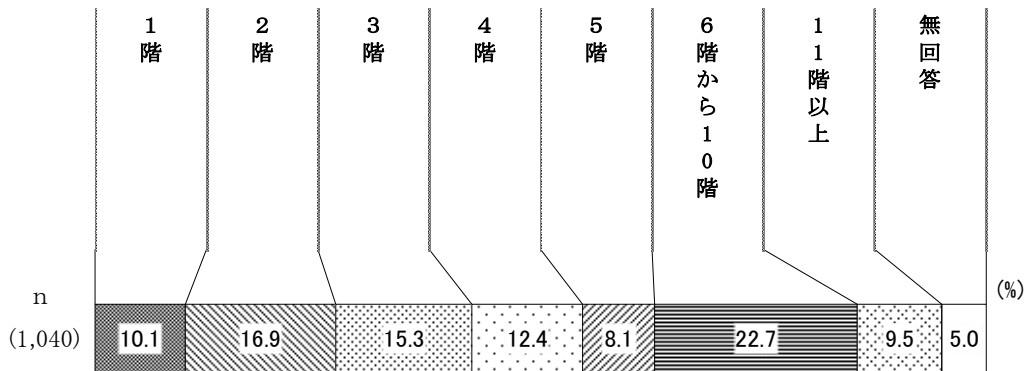
住まいの形態についてたずねたところ、「所有する戸建て」(41.1%)が4割強と最も高く、次いで、「分譲マンション・アパート」(28.3%)の順となっている。《集合住宅》(53.1%)は5割台半ば近くとなっており、《戸建て》(45.0%)より8.1ポイント高くなっている。

<図表35> 階数

○戸建ての場合の建物の階数



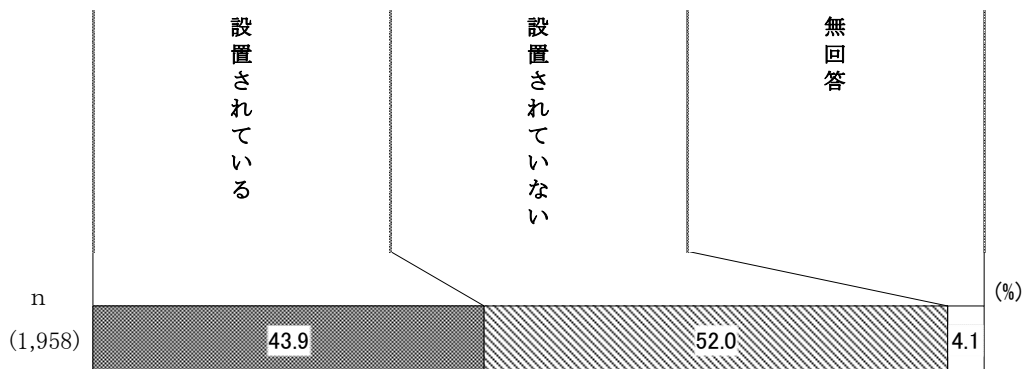
○集合住宅の場合の住んでいる階数



③住まいのエレベーターの設置状況

問22 現在のお住まいにエレベーターは設置されていますか。(1つに○)

<図表36> 住まいのエレベーターの設置状況

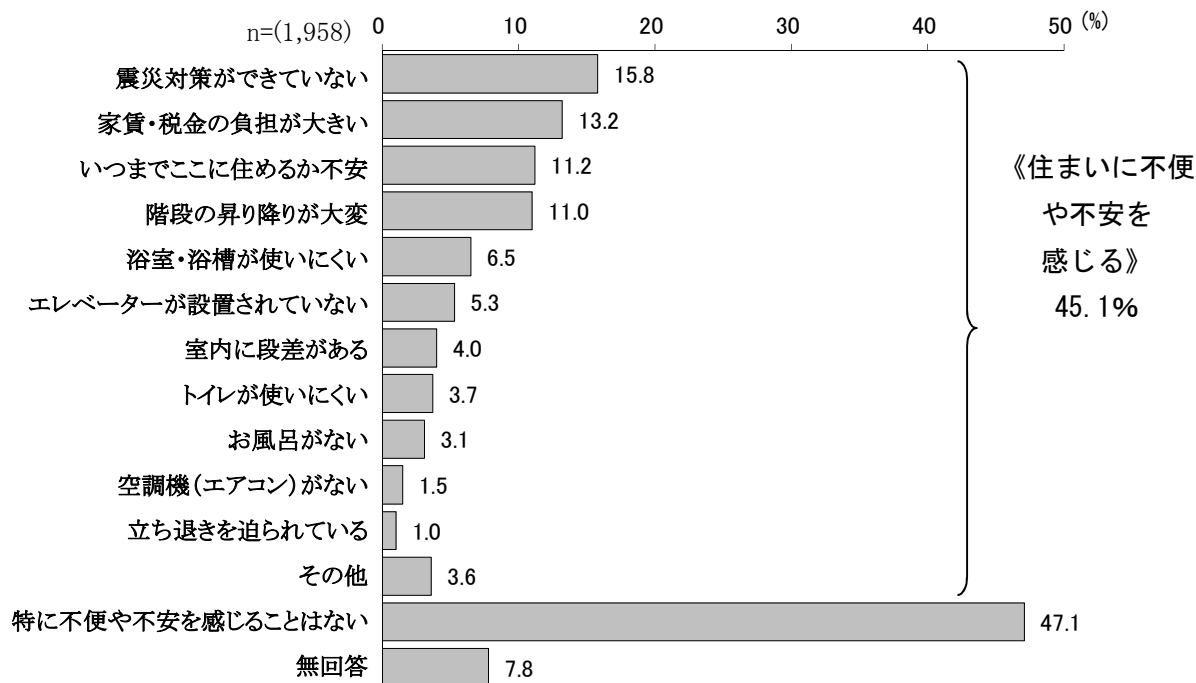


住まいのエレベーターの設置状況をたずねたところ、「設置されている」(43.9%)が4割台半ば近くとなっている。

④現在の住まいで不便や不安を感じていること

問23 あなたが、現在のお住まいで、不便や不安を感じていることは、次のうちどれですか。
 (あてはまるものすべてに○)

<図表37> 現在の住まいで不便や不安を感じていること (複数回答)

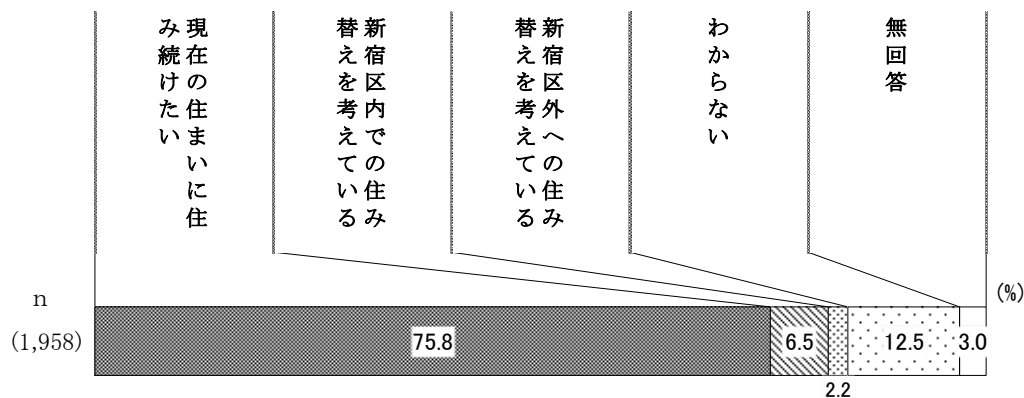


現在の住まいで、不便や不安を感じていることをたずねたところ、《住まいに不便や不安を感じる》(45.1%)が4割台半ばとなっている。不便や不安を感じる内容としては、「震災対策ができていない」(15.8%)が1割台半ばで最も高く、次いで「家賃・税金の負担が大きい」(13.2%)、「いつまでここに住めるか不安」(11.2%)の順となっている。

⑤現在の住まいに引き続きること

問24 あなたは、現在のお住まいに引き続きたいですか。(1つに○)

<図表38> 現在の住まいに引き続きること

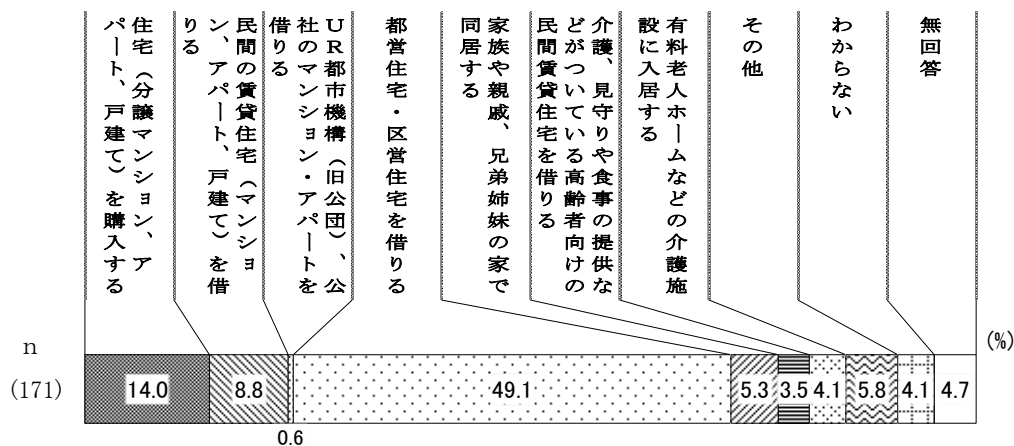


現在の住まいに引き続きることについてたずねたところ、「現在の住まいに引き続きたい」(75.8%)は7割台半ばと最も高くなっている。

⑥住み替え先

問24-1 <<問24で「新宿区内での住み替えを考えている」または「新宿区外への住み替えを考えている」を選んだ方のみお答えください>>
住み替え先は、どのような形を考えていますか。(1つに○)

<図表39> 住み替え先



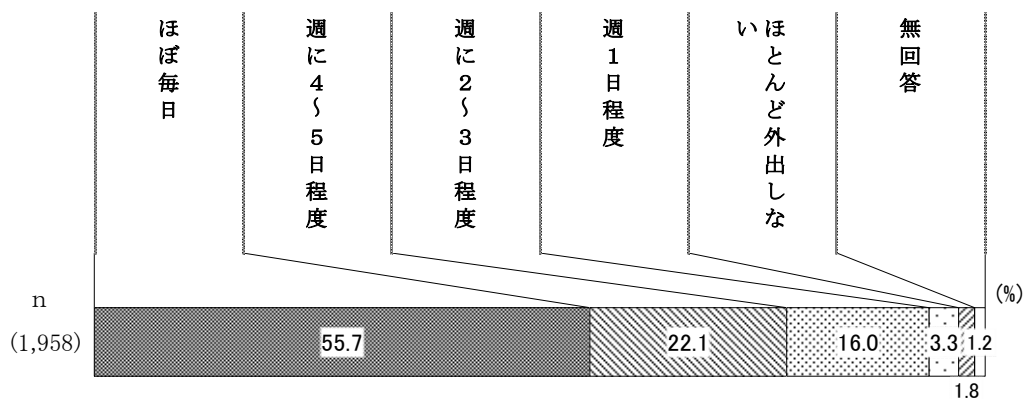
問24で「新宿区内での住み替えを考えている」または「新宿区外への住み替えを考えている」と回答した人に住み替え先をたずねたところ、「都営住宅・区営住宅を借りる」(49.1%)が5割弱と最も高く、次いで、「住宅(分譲マンション、アパート、戸建て)を購入する」(14.0%)、「民間の賃貸住宅(マンション、アパート、戸建て)を借りる」(8.8%)の順となっている。

(4) 日ごろの生活について

①外出頻度

問25 あなたは普段、どの程度、外出しますか。(1つに○)

<図表40> 外出頻度

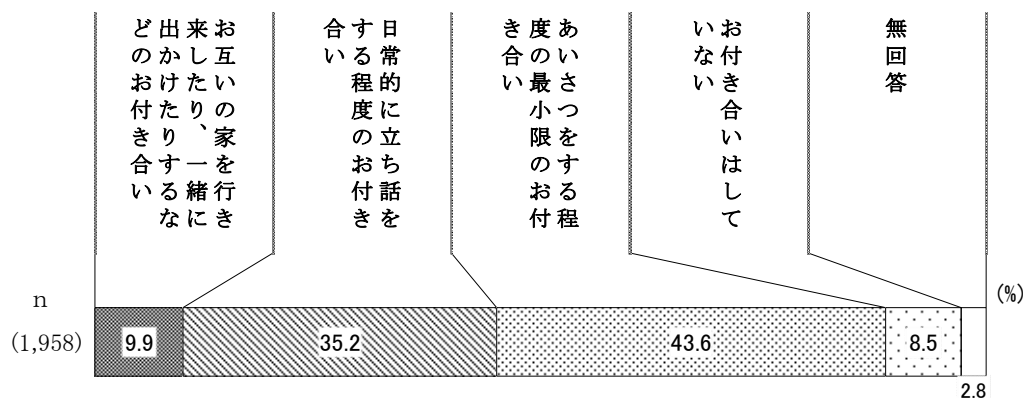


外出頻度をたずねたところ、「ほぼ毎日」(55.7%)が5割台半ばと最も高く、次いで、「週に4〜5日程度」(22.1%)、「週に2〜3日程度」(16.0%)の順となっている。

②ご近所付き合い

問26 あなたは、近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。(1つに○)

<図表41> ご近所付き合い

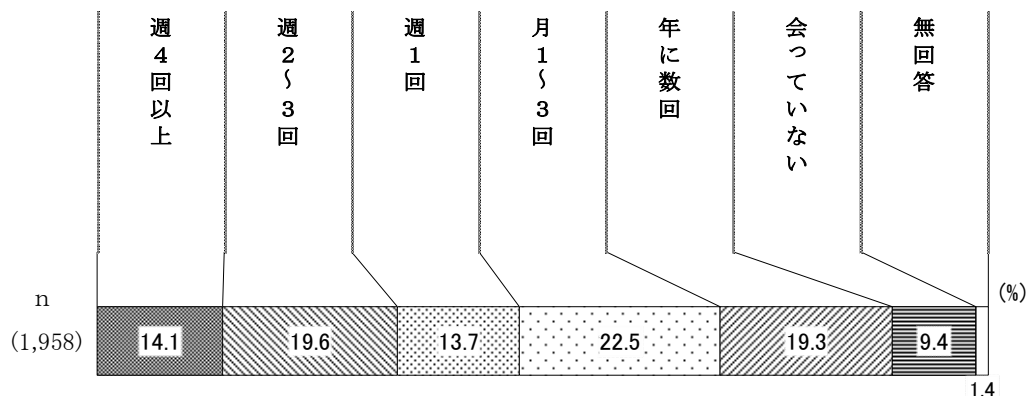


近所の方とのお付き合いの程度についてたずねたところ、「あいさつをする程度の最小限のお付き合い」(43.6%)が4割台半ば近くと最も高く、次いで、「日常的に立ち話をする程度のお付き合い」(35.2%)の順となっている。一方、「お付き合いはしていない」(8.5%)は1割弱となっている。

③友人・知人と会う頻度

問27 あなたは、友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。(同居の親族は含みません)
(1つに〇)

<図表42> 友人・知人と会う頻度

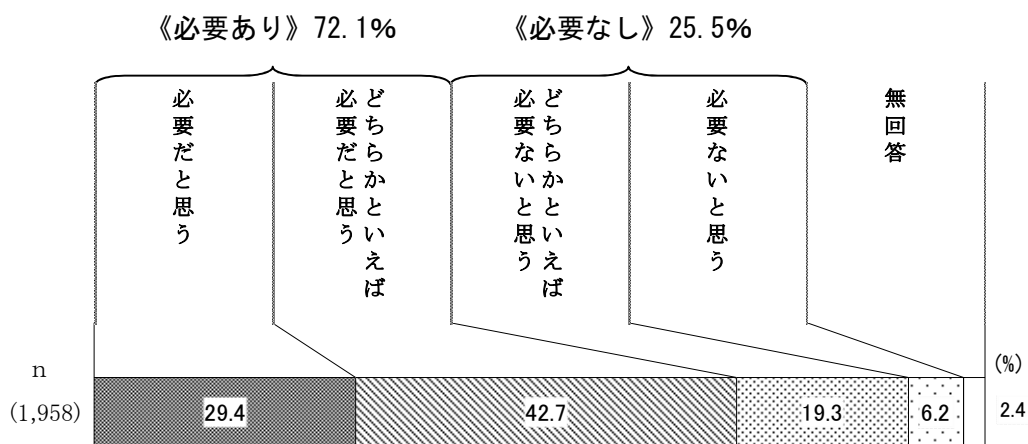


友人・知人と会う頻度についてたずねたところ、「月1〜3回」(22.5%)が2割強と最も高く、次いで、「週2〜3回」(19.6%)、「年に数回」(19.3%)の順となっている。

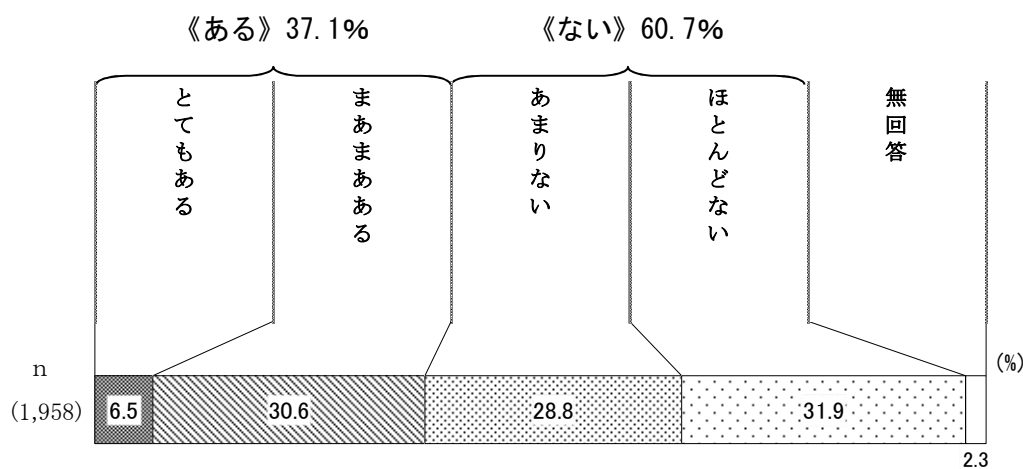
④多世代交流の必要性と頻度

問28 あなたのお住まいの地域で、あなたと違う世代の方と交流する機会についておたずねします。

<図表43> 多世代交流の必要性



<図表44> 多世代交流の頻度



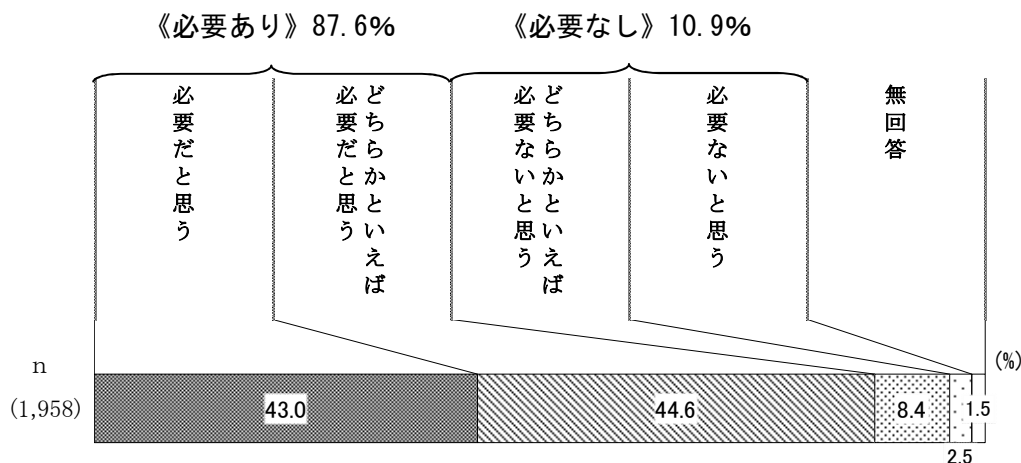
多世代交流の必要性についてたずねたところ、「必要だと思う」(29.4%)と「どちらかといえば必要だと思う」(42.7%)をあわせた《必要あり》は72.1%となっている。

多世代交流の頻度についてたずねたところ、「とてもある」(6.5%)と「まあまあある」(30.6%)をあわせた《ある》は37.1%となっている。

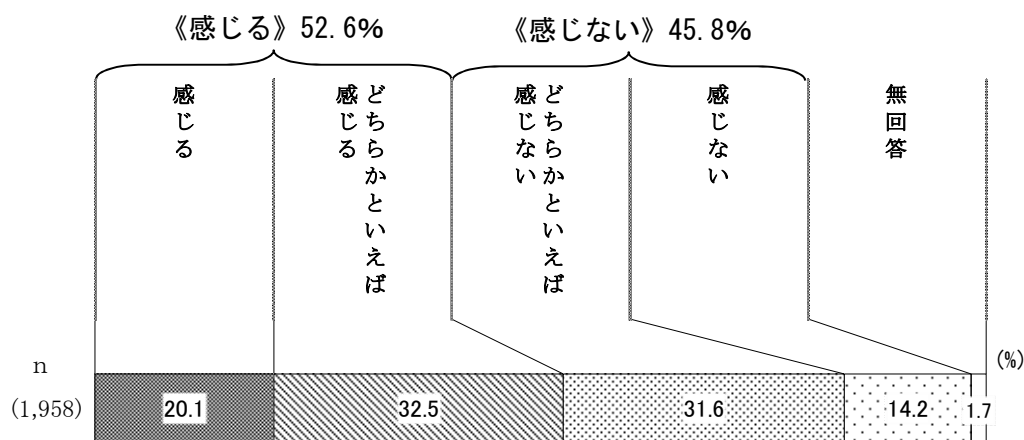
⑤地域のつながりの必要性と実感

問29 あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）についておたずねします。

<図表45> 地域のつながりの必要性



<図表46> 地域のつながりの実感



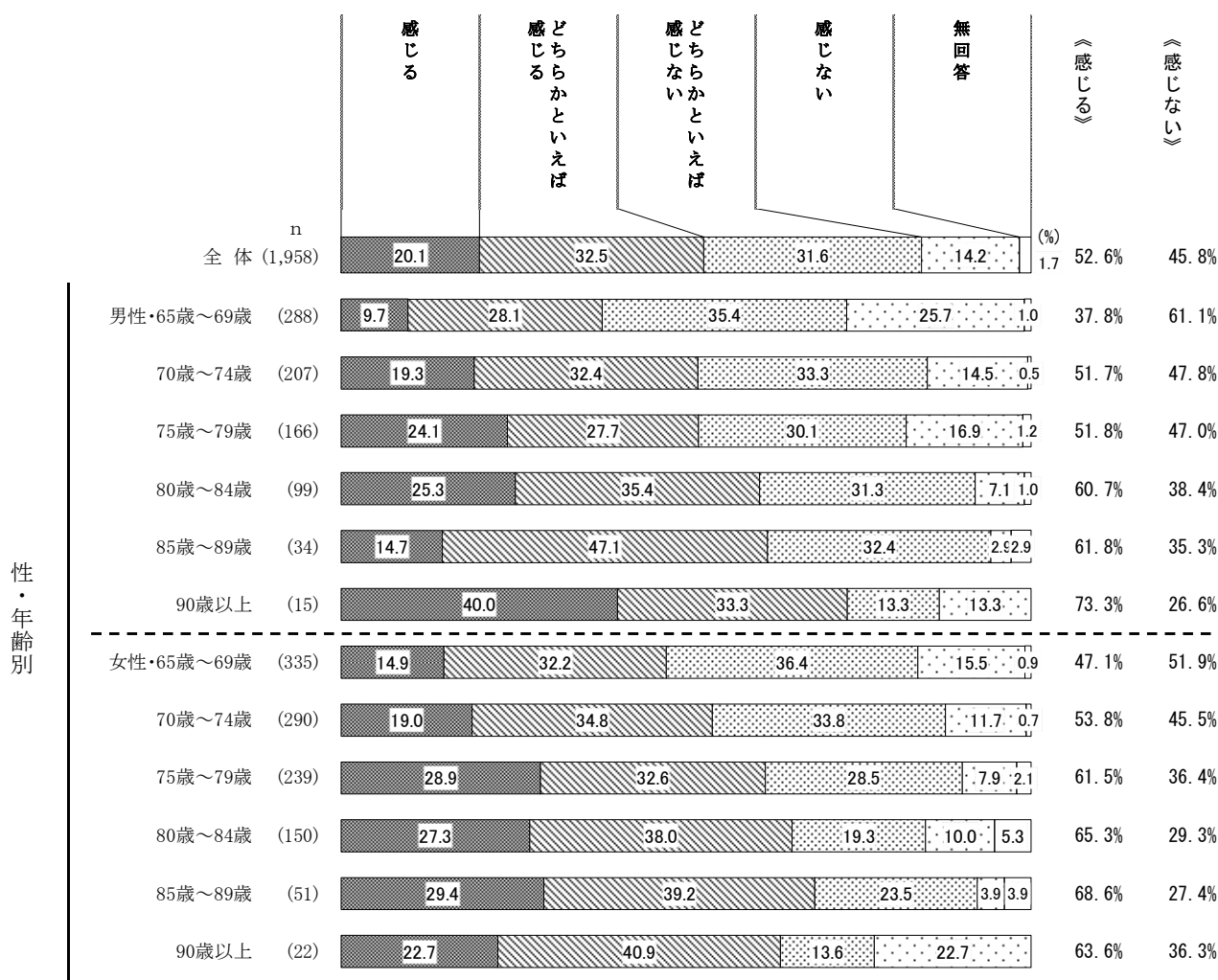
地域のつながりの必要性についてたずねたところ、「必要だと思う」（43.0％）と「どちらかといえ
ば必要だと思う」（44.6％）をあわせた《必要あり》は87.6％となっている。

地域のつながりの実感についてたずねたところ、「感じる」（20.1％）と「どちらかといえ
ば感じる」（32.5％）をあわせた《感じる》は52.6％となっている。

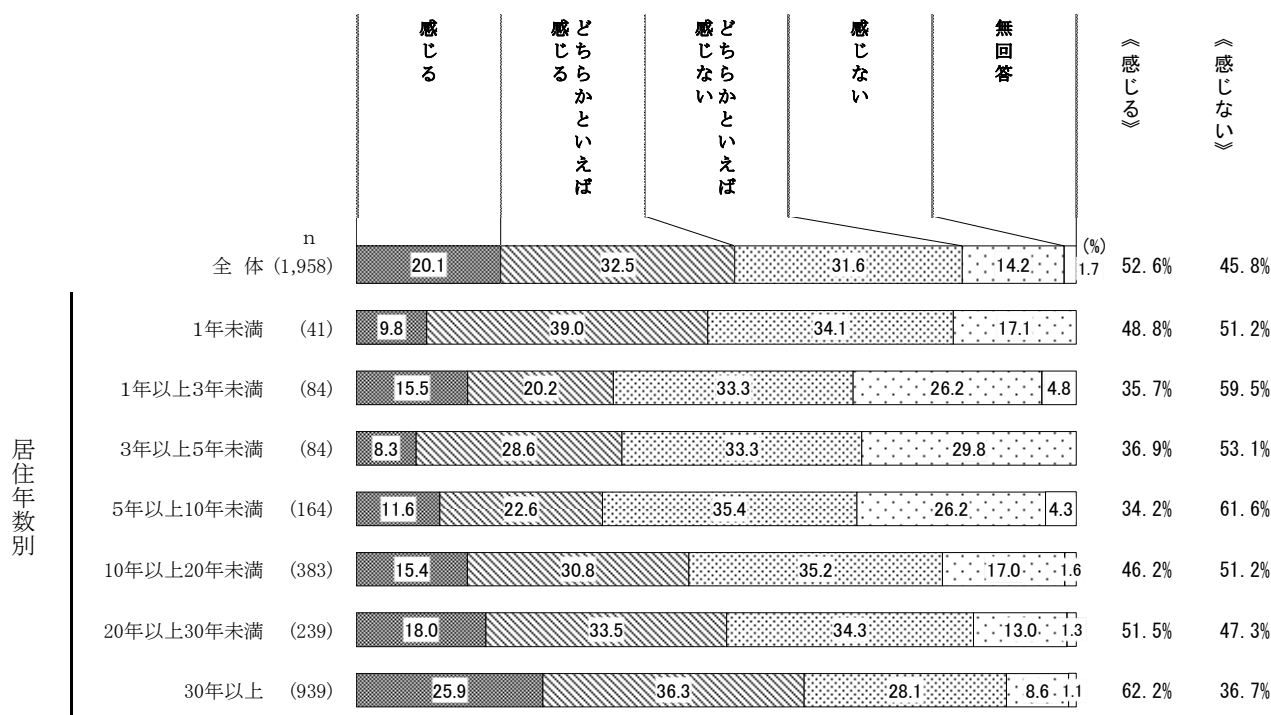
性・年齢別でみると、《感じる》は、年齢が上がるほど、増加する傾向にある。

居住年数別でみると、《感じる》は、居住期間が長くなるほど、増加する傾向にある。

<図表47> 地域のつながりの実感【性・年齢別】



<図表48> 地域のつながりの実感【居住年数別】

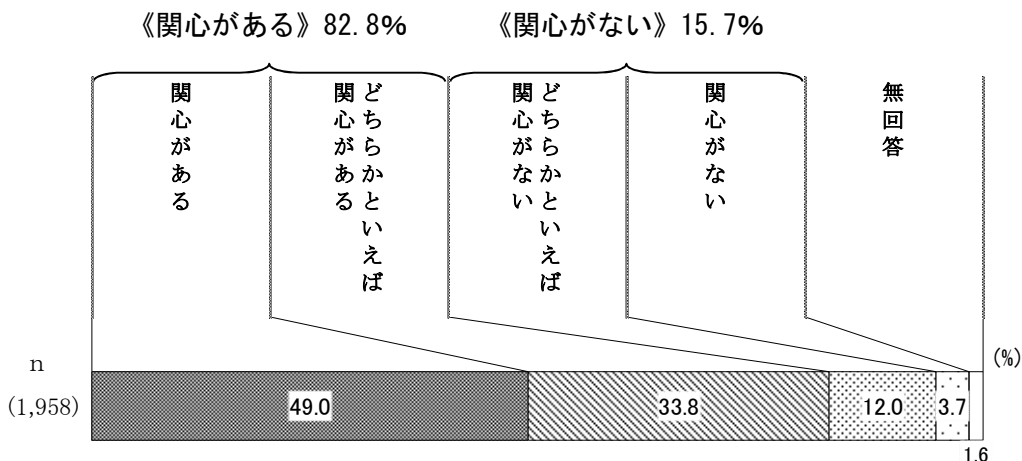


(5) 介護予防について

①介護予防についての関心の有無

問30 あなたは、「介護予防」について関心がありますか。(1つに○)

<図表49> 介護予防についての関心の有無

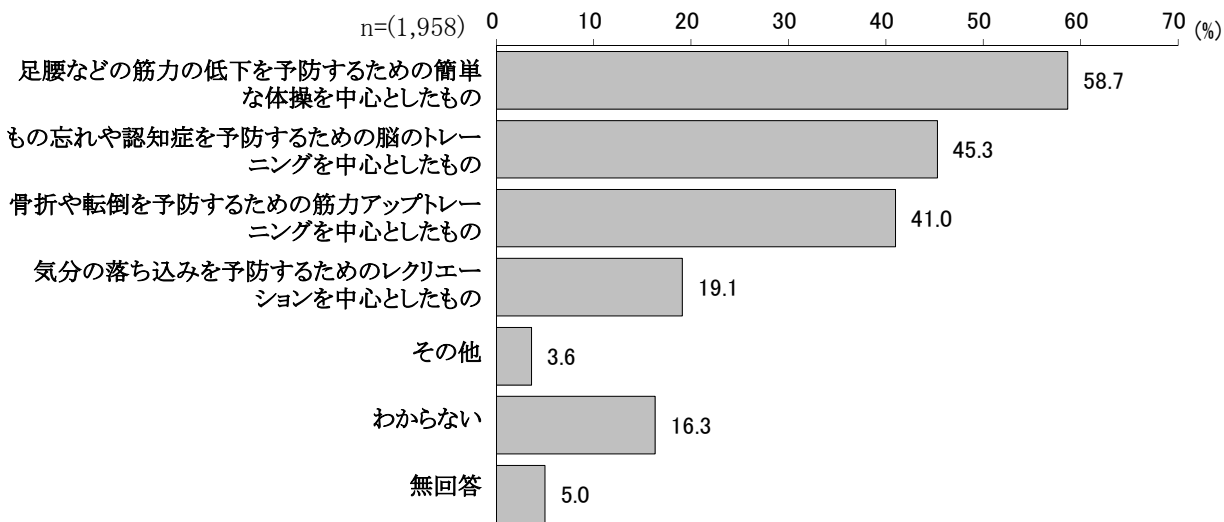


「介護予防」への関心の有無をたずねたところ、「関心がある」(49.0%)と「どちらかといえば関心がある」(33.8%)をあわせた《関心がある》は82.8%となっている。

②希望する介護予防教室の内容

問31 あなたは、介護予防教室について、どのような内容を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

<図表50> 希望する介護予防教室の内容(複数回答)



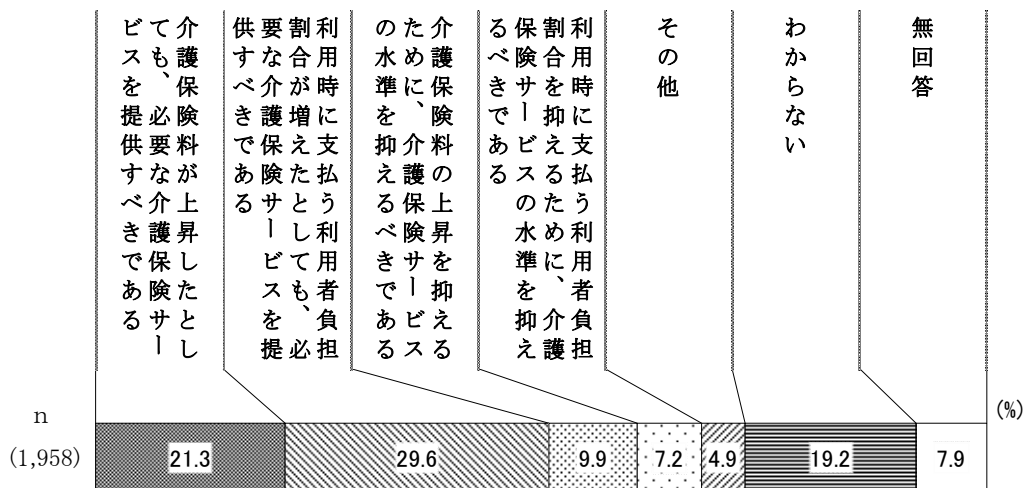
希望する介護予防教室の内容についてたずねたところ、「足腰などの筋力の低下を予防するための簡単な体操を中心としたもの」(58.7%)が6割近くと最も高く、次いで、「もの忘れや認知症を予防するための脳のトレーニングを中心としたもの」(45.3%)、「骨折や転倒を予防するための筋力アップトレーニングを中心としたもの」(41.0%)の順となっている。

(6) 介護保険制度について

①介護保険のサービスと費用負担

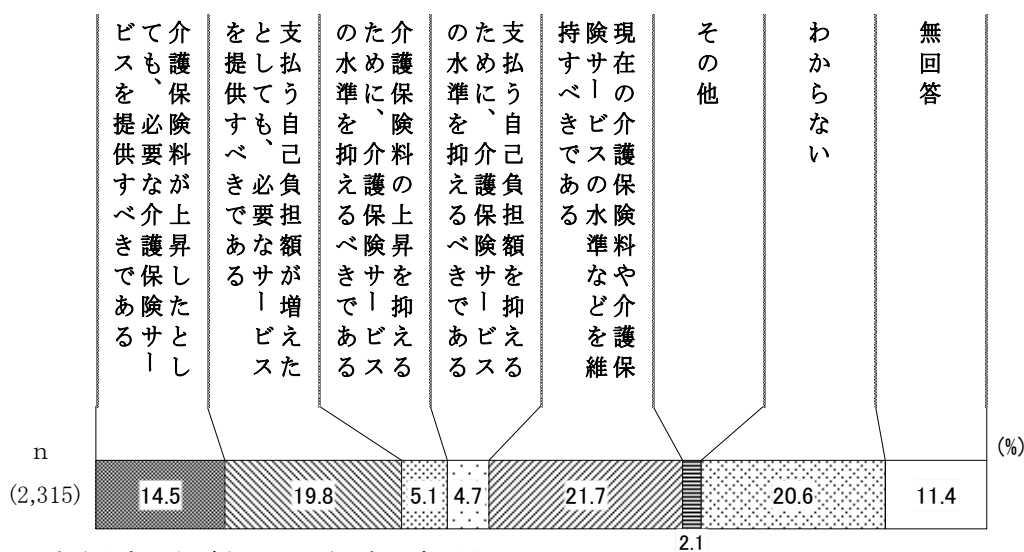
問32 今後、高齢者の増加に伴い、サービスにかかる費用も増大することが予想されます。介護保険のサービスと費用負担について、あなたのお考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(1つに○)

<図表51> 介護保険のサービスと費用負担



介護保険のサービスと費用負担についてたずねたところ、「利用時に支払う利用者負担割合が増えたとしても、必要な介護保険サービスを提供すべきである」(29.6%)が3割弱と最も高く、次いで、「介護保険料が上昇したとしても、必要な介護保険サービスを提供すべきである」(21.3%)、「わからない」(19.2%)の順となっている。

【参考】 介護保険のサービスと費用負担について(平成25年度調査)



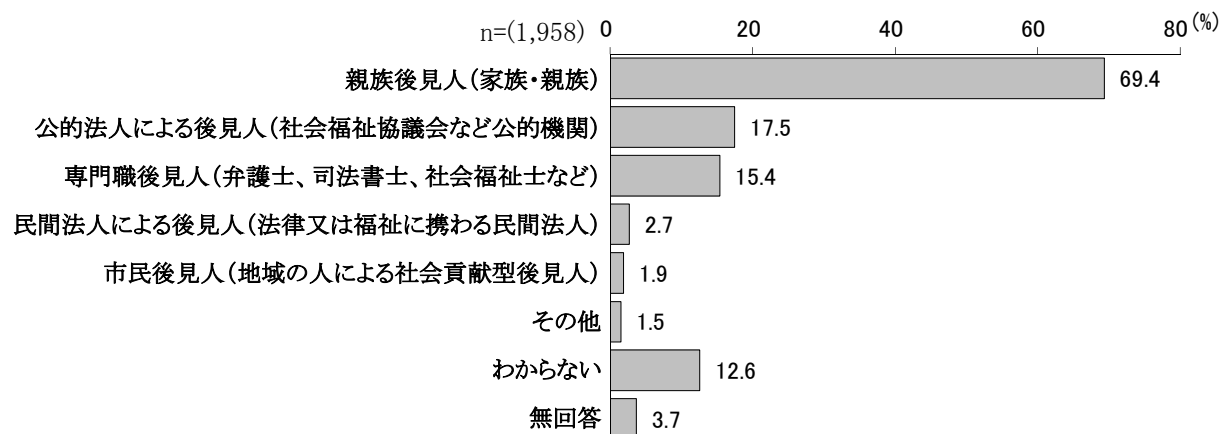
※今回調査(平成28年度)では選択肢に変更あり

(7) 権利擁護について

① 成年後見制度を利用する際、後見人になって欲しい人

問33 あなたが成年後見制度を利用することになった場合、どのような人に後見人になって欲しいと思いますか。すでに利用している方もお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

<図表52> 成年後見制度を利用する際、後見人になって欲しい人 (複数回答)

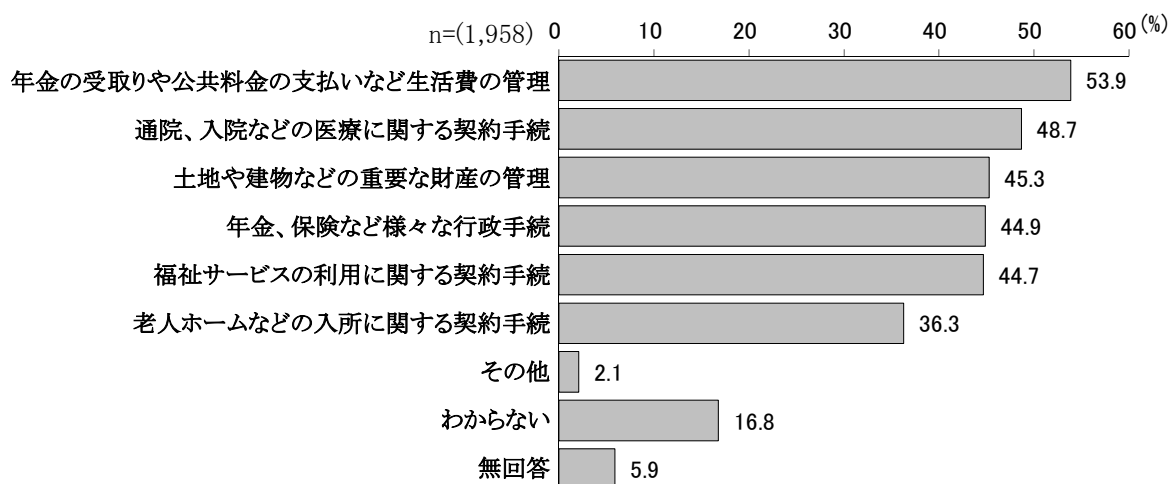


成年後見制度を利用する際、後見人になって欲しい人をたずねたところ、「親族後見人(家族・親族)」(69.4%)が7割弱で最も高く、次いで、「公的法人による後見人(社会福祉協議会など公的機関)」(17.5%)、「専門職後見人(弁護士、司法書士、社会福祉士など)」(15.4%)の順となっている。

② 成年後見制度を利用する際、期待する役割

問34 あなたが成年後見制度を利用することになった場合、期待する役割は何ですか。すでに利用している方もお答えください。(あてはまるものすべてに○)

<図表53> 成年後見制度を利用する際、期待する役割 (複数回答)

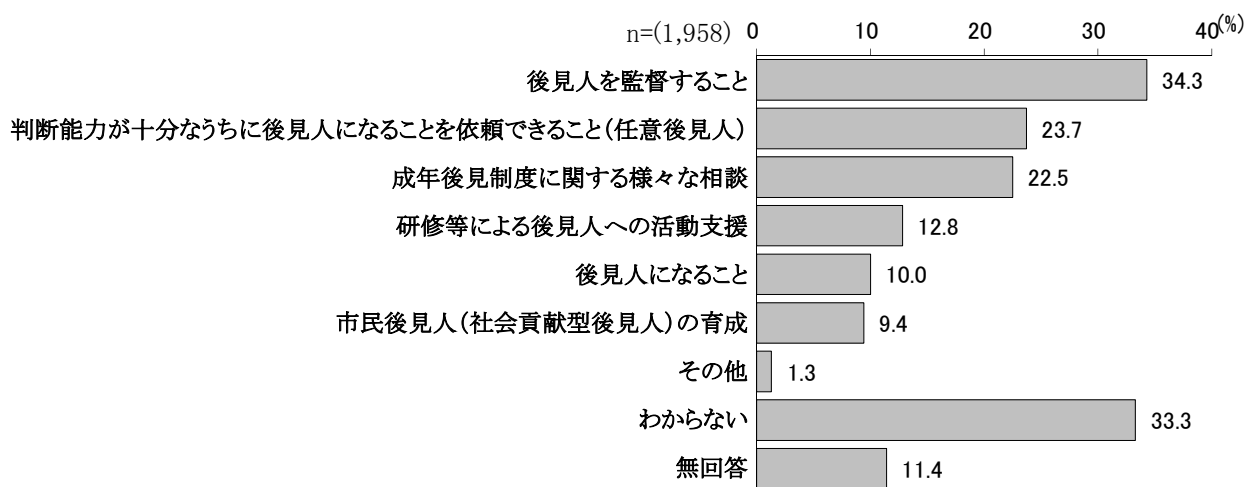


成年後見制度を利用する際、期待する役割をたずねたところ、「年金の受取りや公共料金の支払いなど生活費の管理」(53.9%)が5割台半ば近くと最も高く、次いで、「通院、入院などの医療に関する契約手続」(48.7%)、「土地や建物などの重要な財産の管理」(45.3%)の順となっている。

③成年後見制度において、社会福祉協議会に期待する役割

問35 成年後見制度において、社会福祉協議会に期待する役割は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

<図表54> 成年後見制度において、社会福祉協議会に期待する役割 (複数回答)

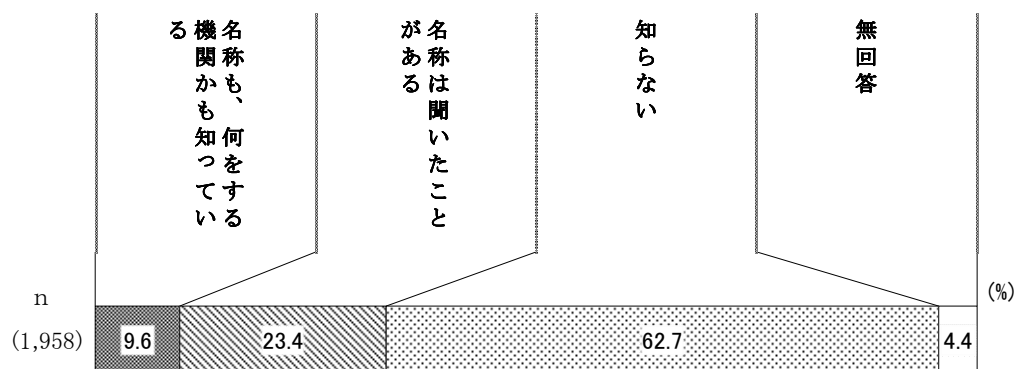


成年後見制度において、社会福祉協議会に期待する役割をたずねたところ、「後見人を監督すること」(34.3%)が3割台半ば近くで最も高く、次いで、「判断能力が十分なうちに後見人になることを依頼できること(任意後見人)」(23.7%)、「成年後見制度に関する様々な相談」(22.5%)の順となっている。

④新宿区成年後見センターの認知度

問36 あなたは、「新宿区成年後見センター」をご存じですか。(1つに○)

<図表55> 新宿区成年後見センターの認知度



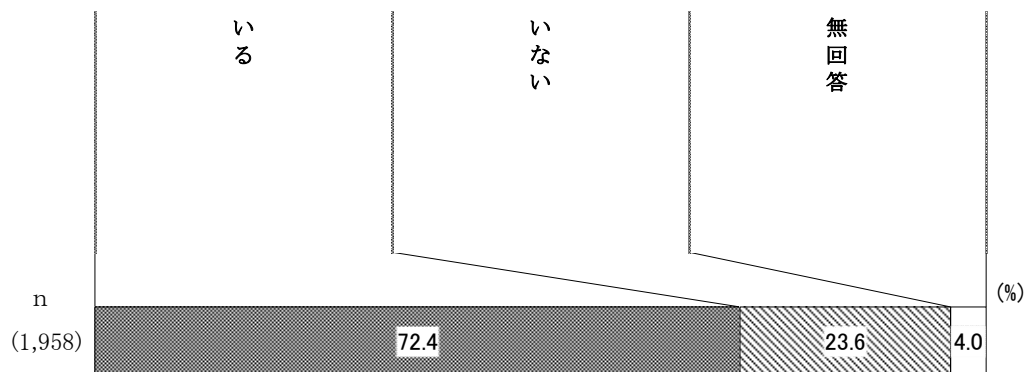
新宿区成年後見センターの認知度をたずねたところ、「名称も、何をする機関かも知っている」(9.6%)は1割弱、「名称は聞いたことがある」(23.4%)は2割台半ば近くとなっている。一方、「知らない」(62.7%)は6割強となっている。

(8) 災害時の支援などについて

①災害時に同居者以外で頼りになる人の有無

問37 災害で困った時、同居者以外で頼りになる人がいますか。(1つに○)

<図表56> 災害時に同居者以外で頼りになる人の有無

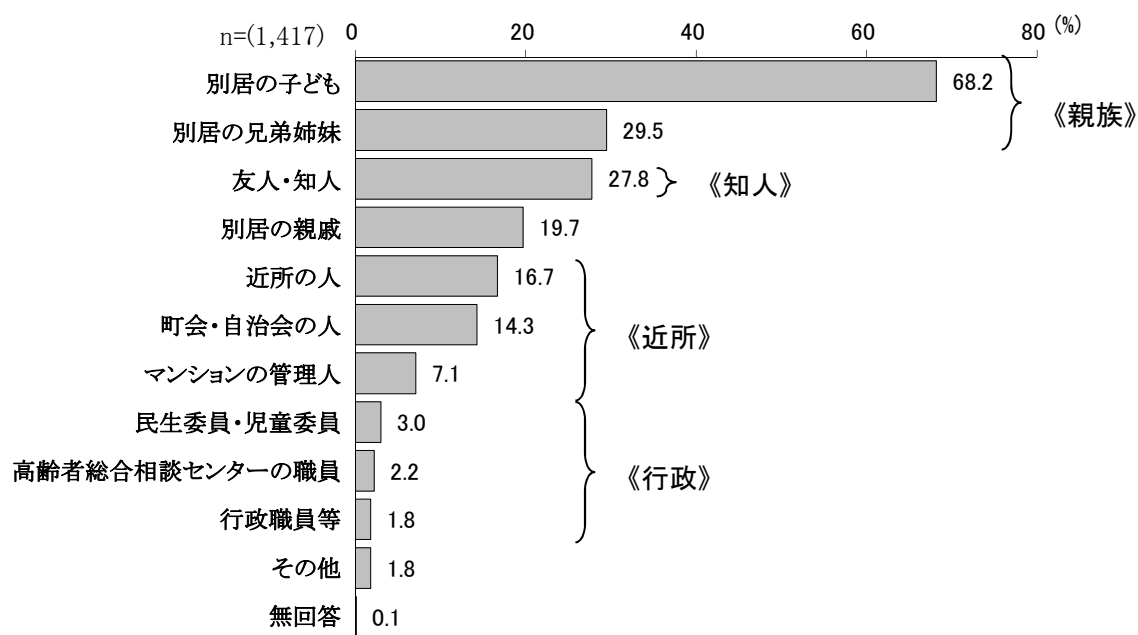


災害時に同居者以外で頼りになる人の有無をたずねたところ、「いる」(72.4%)は7割強となっている。

②災害時に同居者以外で頼りになる人の続柄

問37-1 <<問37で「いる」を選んだ方のみお答えください>>
それはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表57> 災害時に同居者以外で頼りになる人の続柄(複数回答)



問37で同居者以外で頼りになる人が「いる」と回答した人に、その続柄をたずねたところ、「別居の子ども」(68.2%)が7割近くと最も高く、次いで、「別居の兄弟姉妹」(29.5%)、「友人・知人」(27.8%)の順となっている。

(9) 健康・福祉サービスの情報や相談窓口について

① 高齢者総合相談センターの名称・機能・所在地の認知度

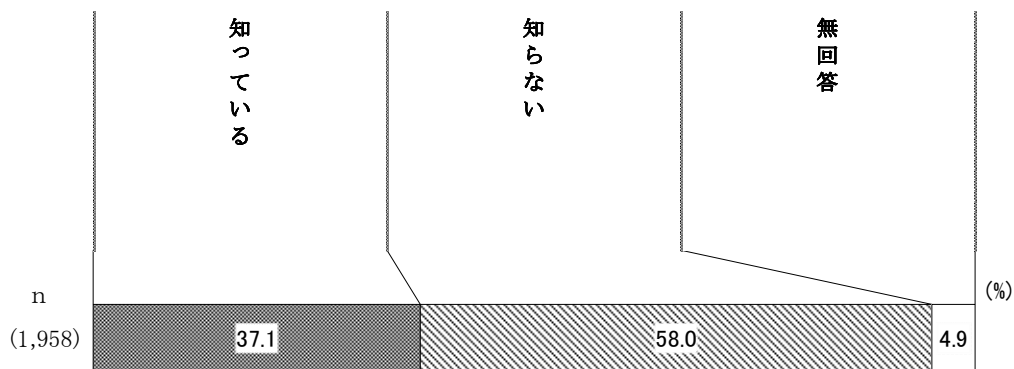
問38 あなたは、「高齢者総合相談センター」の名称をご存じですか。(1つに○)

問39 あなたは、「高齢者総合相談センター」が何をする機関かご存じですか。(1つに○)

問40 あなたは、あなたのお住まいの地域を担当する「高齢者総合相談センター」がどこにあるかご存じですか。(1つに○)

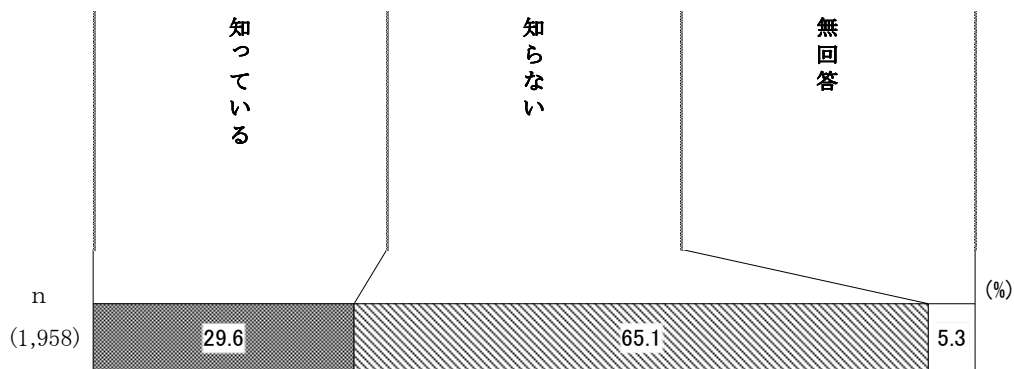
<図表58> 高齢者総合相談センターの名称・機能・所在地の認知度

○名称の認知度



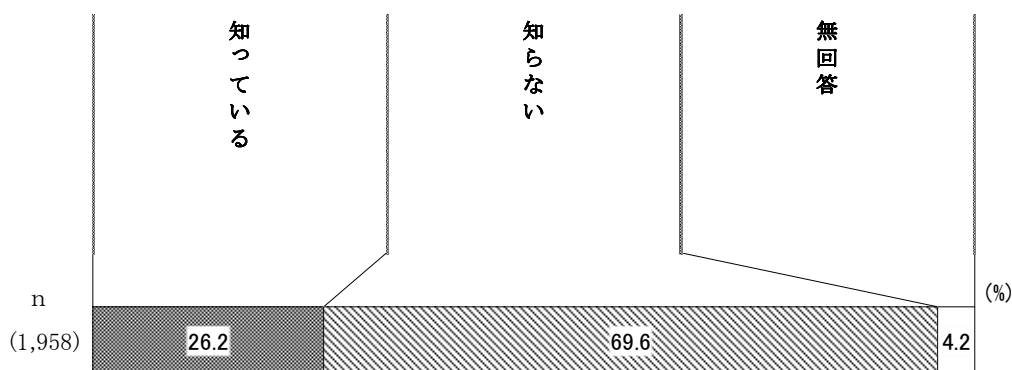
高齢者総合相談センターの名称の認知度をたずねたところ、「知っている」(37.1%)は3割台半ばを超えている。

○機能の認知度



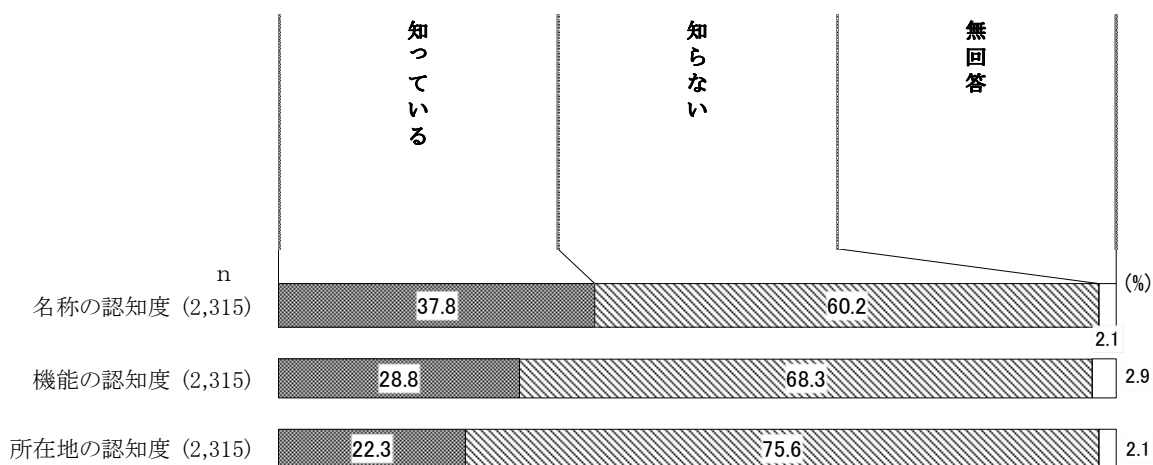
高齢者総合相談センターの機能の認知度をたずねたところ、「知っている」(29.6%)は3割弱となっている。

○所在地の認知度



高齢者総合相談センターの所在地の認知度をたずねたところ、「知っている」(26.2%)は2割台半ばを超えている。

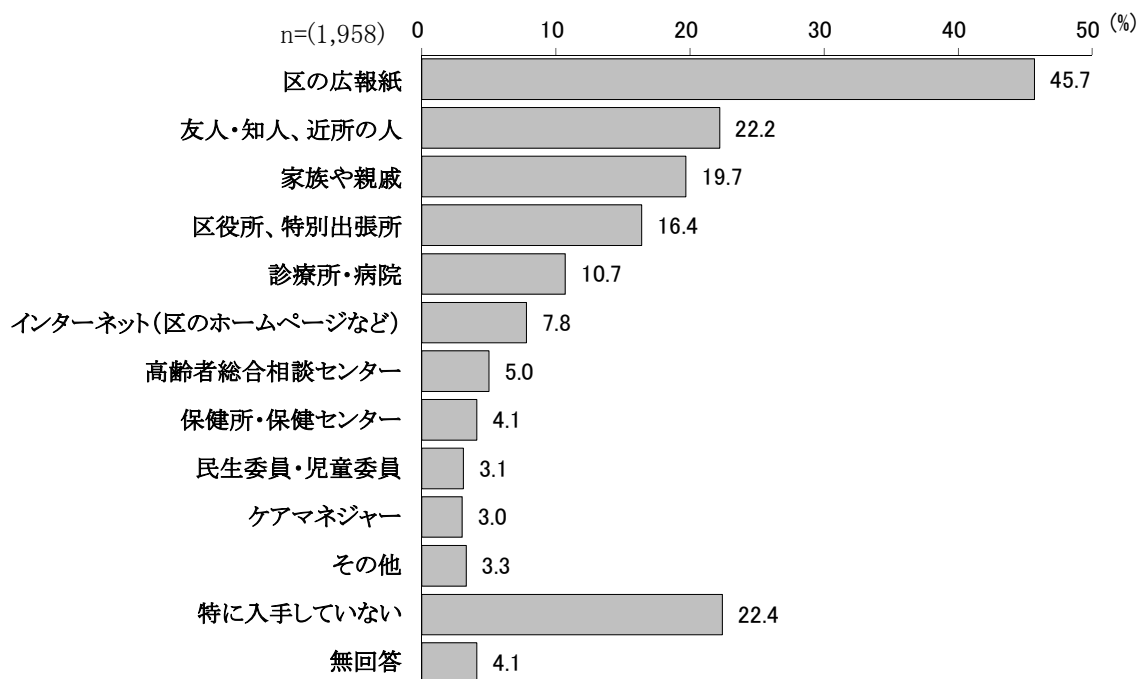
【参考】 高齢者総合相談センターの名称・機能・所在地の認知度(平成25年度調査)



②健康や福祉サービスに関する情報の入手手段

問41 あなたは日ごろ、健康や福祉サービスに関する情報をどのような手段で入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

<図表59> 健康や福祉サービスに関する情報の入手手段（複数回答）

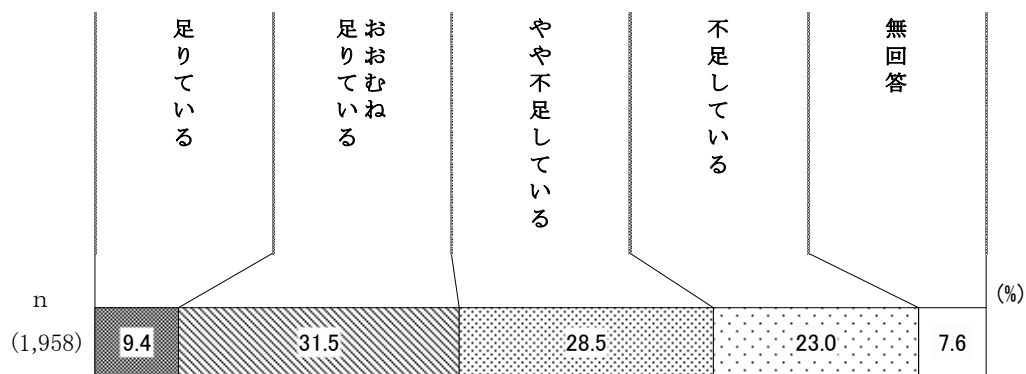


健康や福祉サービスに関する情報の入手手段についてたずねたところ、「区の広報紙」(45.7%)が4割台半ばと最も高く、次いで、「友人・知人、近所の人」(22.2%)、「家族や親戚」(19.7%)の順となっている。

③健康や福祉サービスに関する情報量の充実度

問42 あなたの入手している健康や福祉サービスに関する情報量は足りていると思いますか。
(1つに○)

<図表60> 健康や福祉サービスに関する情報量の充実度



健康や福祉サービスに関する情報の充実度についてたずねたところ、「おおむね足りている」(31.5%)が3割強と最も高く、次いで、「やや不足している」(28.5%)、「不足している」(23.0%)の順となっている。

④高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見

問43 最後に、高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、区へのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。

高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、539人からの回答があった。回答の多かった内容は、「介護保険・保険料について」「情報提供・相談について」「健康・介護予防について」の順であった。

各事項（その他除く）について、回答の中からいくつかの意見を示す。

介護保険・保険料について	情報提供・相談について	健康・介護予防について	高齢者向け施設について	高齢者施策について	アンケートについて	サービスについて	住まいについて	医療・保健について	人材・ボランティアについて	認知症について	家族等介護者のことについて	災害時・緊急時のことについて	その他
128	105	67	63	52	37	35	33	27	22	9	8	5	29

※1人で複数の記載内容があるため、合計の件数と回答者数は一致しない。

【介護保険・保険料について】

- ・介護保険の自己負担を少なくしてほしい。
- ・年金収入に対して介護保険料が高い。

【情報提供・相談について】

- ・区の広報紙に回数多く、詳細に掲載を希望する。
- ・老人ホームがどこにあって、入居料がいくらかかるのか、待機年数は何年か等、全く知らない。身体がきかなくなった時、どこへ相談したらいいのかも全く知らない。大まかな流れでもわかったら安心する。

【健康・介護予防について】

- ・認知症など、介護が必要な病気にならない様に予防に力を入れてほしい。
- ・筋力アップのストレッチを老人会館等でしてほしい。

【高齢者向け施設について】

- ・特別養護老人ホームが不足している。今後とも増える高齢者数を考えると、この問題は深刻だと思っている。
- ・介護や介護予防のリハビリセンターの施設に対する設備の整備や運用の支援を充実し、特に有資格

職員の増強を図り、待機要支援者の解消を実現していただきたい。

【高齢者施策について】

- ・精神的支援制度も必要。
- ・高齢者の福祉や介護の仕事が増大すると思うが、効率良い予算配分をお願いする。

【アンケートについて】

- ・アンケートに答えたいが、文章がむずかしいため、理解出来ない所が多い。
- ・このアンケート調査により“成年後見制度”や“社会福祉協議会”などについての知識は全くない中、これについて知る機会となった。

【サービスについて】

- ・公衆浴場の無料チケットをいただいているが、近所に浴場が無いのでチケットをいただいても役にたたない。
- ・高齢者のための「シニア大学」をやってほしい。地域ごと興味のある趣味的なゼミ等高齢者の学ぶ意欲を刺激してくれる企画がほしい。

【住まいについて】

- ・住居の問題、高齢者向けの賃貸物件は、どこに相談に行けばよいのか。
- ・民間の賃貸住宅に入居している間の家賃補助制度を要望する。

【医療・保健について】

- ・在宅医療制度の充実を医療費の負担減と併せて、促進してもらいたい。
- ・入院時に保証人がいない人は、どうなるのか、不安である。

【人材・ボランティアについて】

- ・将来サービスが必要と感じた時、人材人手不足とならないように団塊世代として心配である。
- ・介護する人が不足していると聞く。介護することは、優しさ、親切が何より大切だと思っている。

【認知症について】

- ・認知症の人の家族への思いやりのある対策を願う。

【家族等介護者のことについて】

- ・家族が介護をしている場合、介護しているものの生活や心情が脇に追いやられ、いつもストレスをかかえている。ヘルプしてくれる体制ができればと思う。

【災害時・緊急時のことについて】

- ・災害時の避難場所が不足している。高齢者は遠くて歩けないなど不便、近隣の施設やマンションなどを活用すべきである。